

最近の経済動向

平成27年2月号

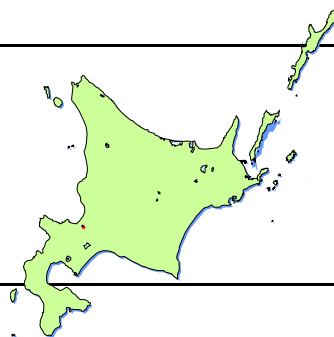
(平成26年12月の経済指標を中心として)

本道経済は、持ち直しの動きが鈍化している

北海道の景気概況

P 1 ■企業のみなさまから伺いました

P 4 ■景気動向指数



需要動向（消費・投資）

P 5 ■個人消費 ~ 持ち直しの動きに足踏み感がみられる

P 7 ■住宅建設 ~ 減少している

P 8 ■公共工事 ~ 前年度と同水準にあるものの、減少傾向となっている

P 8 ■観光 ~ 緩やかに回復している

企業活動と雇用、物価等

P 9 ■生産活動 ~ 横ばい傾向ながら弱い動きもみられる

P 10 ■電力 ~ 電力需要は前年を下回り、大口電力は前年を上回った

P 12 ■輸出入 ~ 輸出額は前年を上回り、輸入額は前年を下回った

P 13 ■企業倒産 ~ 件数、負債総額とも前年を下回った

P 14 ■雇用 ~ 厳しさは残るものの、緩やかに改善している

P 17 ■物価 ~ 消費者物価指数は前年を上回った

地域、全国の経済動向

P 18 ■地域の経済動向

P 24 ■全国の景気

編集・発行：北海道経済部経済企画室

TEL 011-204-5139

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/>

■ 企業のみなさまから伺いました

◆ 百貨店（1月）

【悪天候により客足が鈍り、売上も落ちた】

1月は、悪天候により客足が鈍り、売上も落ちた。

初売り、福袋は好調だったものの、冬のセールはふるわなかった。昨年4月の消費税増税後、高額品の売上げは戻っているが、婦人服などの売上げは戻っておらず、セールの売上もふるわなかった。

外国人観光客の売上は堅調で、海外高級輸入時計や、自国では手に入りにくい国産化粧品の売上も好調だった。

◆スーパー（1月）

【生鮮食品の売上が堅調に推移】

悪天候の日もあり、売上への影響も懸念されたが、生鮮食品の売上げが堅調に推移し、既存店売上高は前年を上回った。

また、生肉の売上が引き続き好調で、特に、年始は、ステーキやスライスなど牛肉の売上がよかった。

◆コンビニエンスストア（1月）

【値上げ等の影響を受けた】

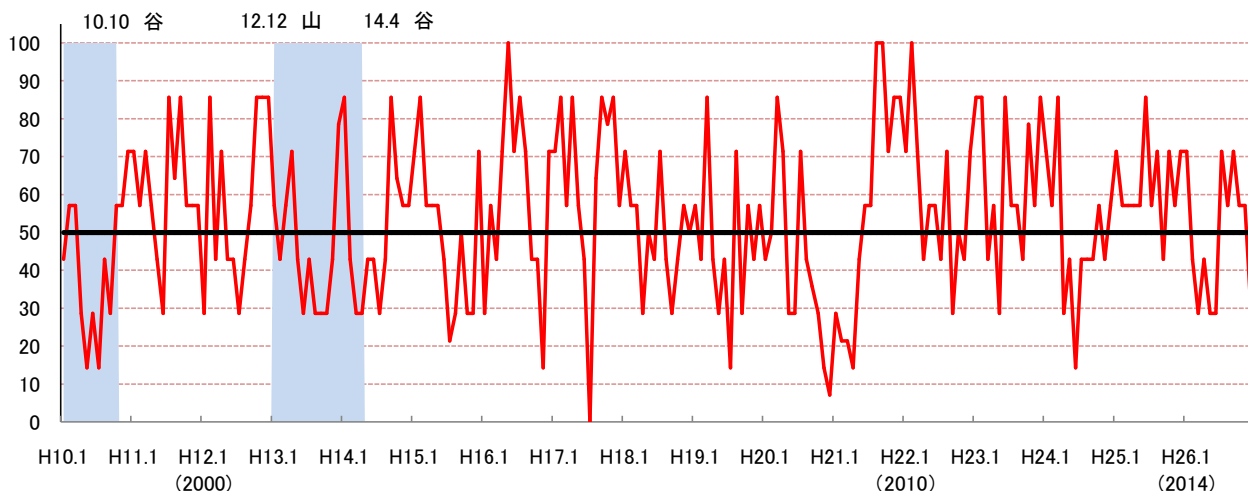
1月は、地域によっては大雪などの悪天候が外出を控えさせる要因となるなど、局地的に極端な天候となり、来店客数に影響を受けた部分もあった。

中旬以降は、おおむね気温が平年より高く推移し、暖かかったことから、アイス商品やビールなどの「気温型商品」の売上が良かった。

反面、各種生活用品の値上げや、本道のみ実施された電気料金再値上げの影響は残っており、特に高齢者を中心に、来店頻度、購入点数が前年を下回っている。

■ 景気動向指数

景気動向指数(一致系列)グラフ



景気動向指数(先行・一致・遅行)変化

系 列 名		25/ 12月	26/ 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
先 行 系 列	新規求人数(新規学卒を除く全数)	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+
	雇用保険受給者実人員(逆サイクル)	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-
	生産指数(生産財)	+	+	+	+	-	-	-	+	-	+	0	r+	p-
	新車登録台数(軽を含む乗用車)	+	+	+	-	-	-	-	+	-	+	+	+	+
	新設住宅着工戸数	+	-	+	-	+	+	-	-	+	+	+	+	+
	企業倒産件数(逆サイクル)	+	-	+	-	+	-	+	+	-	+	+	+	-
	企業業況判断D.I.	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	拡張系列数	7	4	6	2	3	1	1	3	1	4	3.5	5	3
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	先行指数	100.0	57.1	85.7	28.6	42.9	14.3	14.3	42.9	14.3	57.1	50.0	r71.4	p42.9
一 致 系 列	有効求人倍率(新規学卒を除く全数)	+	-	-	-	+	+	+	+	+	+	-	-	-
	生産指数(鉱工業)	+	+	-	-	-	-	-	+	-	+	-	r-	p-
	出荷指数(生産財)	+	+	-	-	-	-	-	+	-	+	+	r+	p-
	大口電力使用量	-	-	-	-	+	-	+	-	+	-	+	-	+
	百貨店販売額(既存店)	-	+	+	+	-	-	-	+	+	+	+	r+	p-
	着工建築物数(鉱業、建設業用+製造業用)	+	+	+	-	+	+	-	-	-	+	+	+	-
	輸入通関実績(原油及び粗油を除く)	+	+	+	+	-	-	-	+	+	-	-	r+	p+
	拡張系列数	5	5	3	2	3	2	2	5	4	5	4	4	2
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	一致指数	71.4	71.4	42.9	28.6	42.9	28.6	28.6	71.4	57.1	71.4	57.1	r57.1	p28.6
遅 行 系 列	常用雇用指数(規模30人以上)	+	-	-	-	-	+	+	+	-	+	-	-	-
	完全失業率(逆サイクル)	-	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-
	消費者物価指数(総合)	+	-	-	-	+	+	+	-	-	-	-	-	-
	家計消費支出(二人以上の勤労者世帯)	+	-	-	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-
	生産指数(資本財)	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	r-	p-
	拡張系列数	4	2	2	3	4	4	4	1	0	1	0	1	0
	採用系列数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4
遅行指数	80.0	40.0	40.0	60.0	80.0	80.0	80.0	20.0	0.0	20.0	0.0	r20.0	p0.0	

(注) 1 北海道経済部経済企画室 試算。Pは速報値、rは確報値。

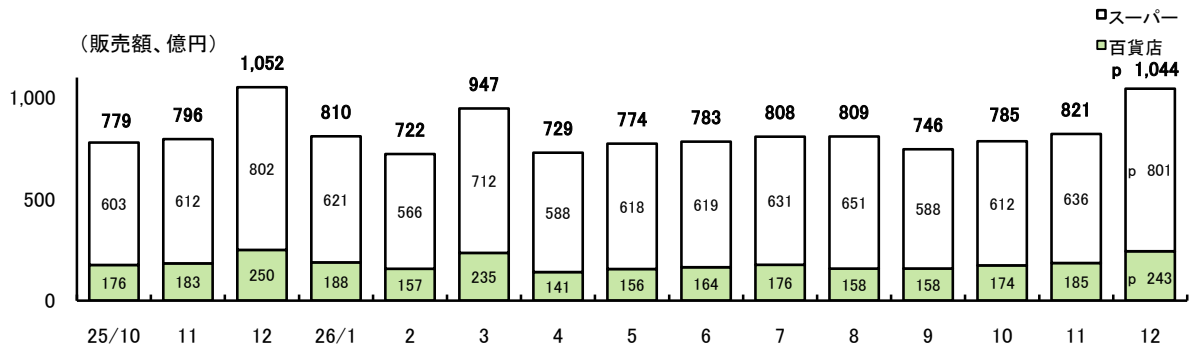
2 景気動向指数(Diffusion Index 略してDI)は、景気に敏感な諸指標を選定し、そのうち上昇(拡張)を示している指標の割合を示すものであり、景気局面の判断、予測と景気転換点(景気の高・谷)の判定に用いる。採用系列の各月の値を3か月前の値と比較して、増加した時には+を、保合いの時には0を、減少した時には-をつける(変化方向表)。その上で、先行、一致、遅行の各系列群ごとに採用系列数に占める拡張系列数(+の数)の割合(%)をDIとする。

DI=拡張系列数/採用系列数×100(%) (保合い(0)の場合は0.5としてカウントする。)

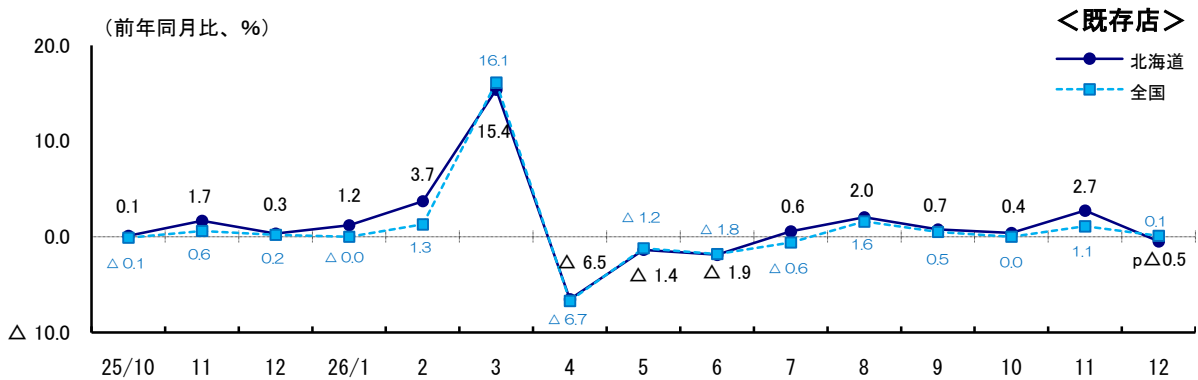
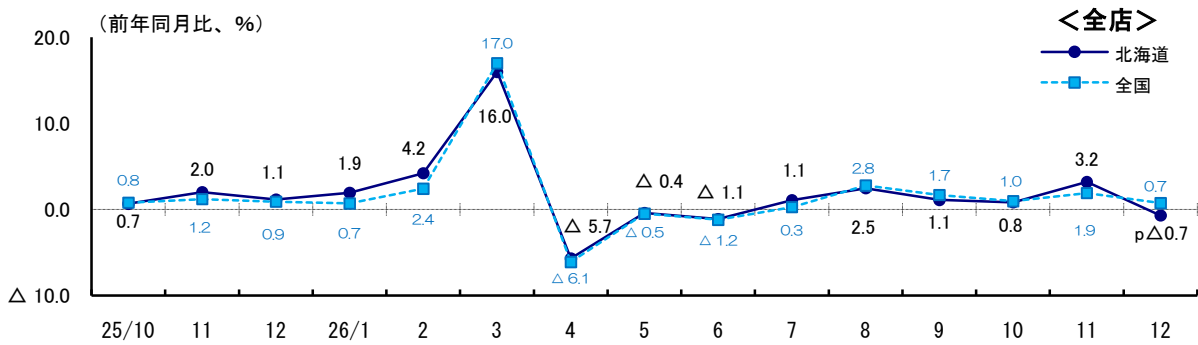
■個人消費～ 持ち直しの動きに足踏み感がみられる

◆大型小売店販売額(12月)◆

全店ベースで1,044億円、前年同月比0.7%減と6か月ぶりに前年を下回り、既存店ベースでは同0.5%減と6か月ぶりに前年を下回った。

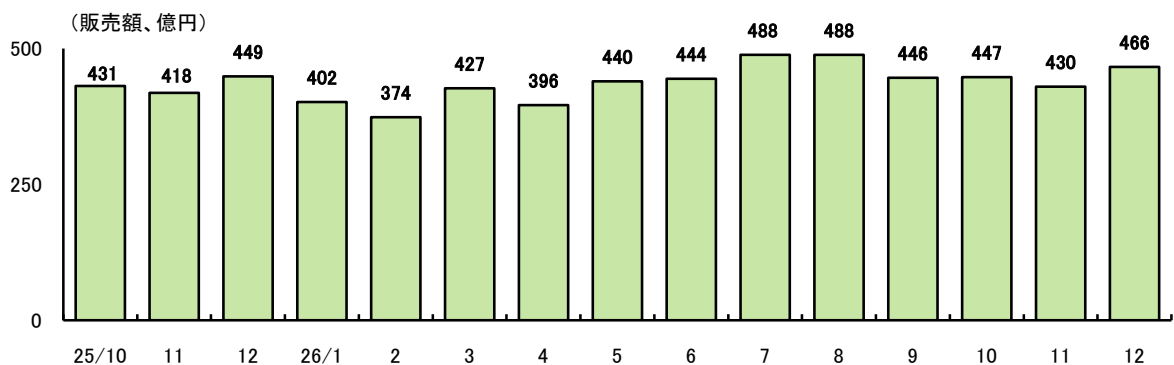


(注)pは速報値(以下同様)



◆コンビニエンスストア販売額(12月)◆

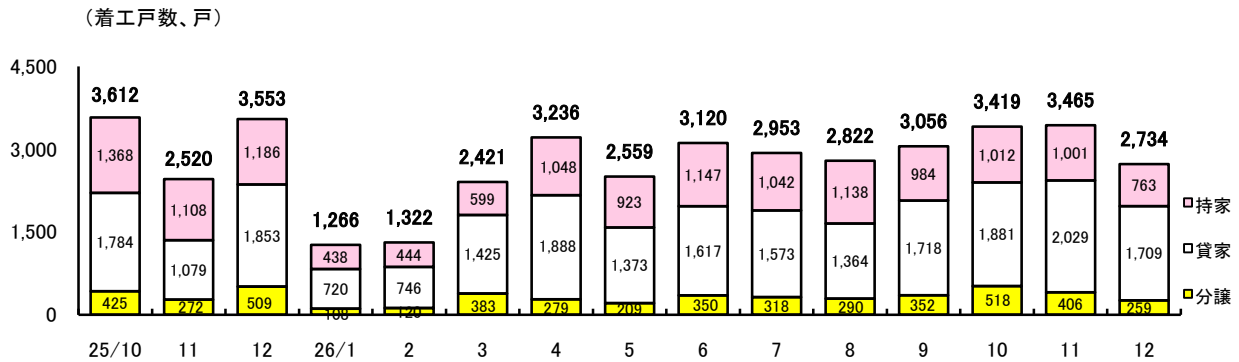
全店ベースで466億円、前年同月比3.9%増と15か月連続で前年を上回り、既存店ベースでは同1.7%増と8か月連続で前年を上回った。



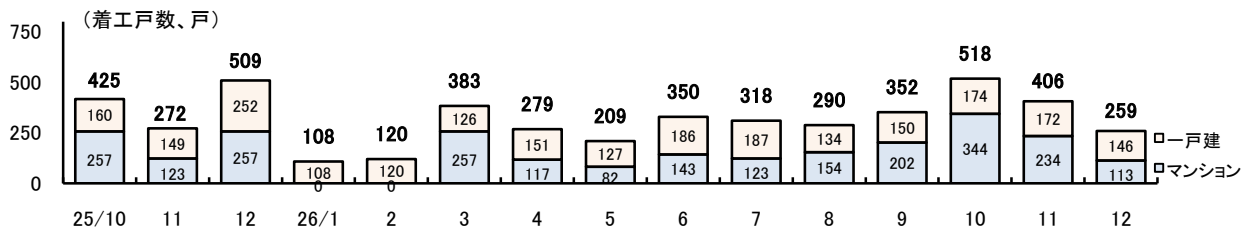
■住宅建設 ～ 減少している

◆新設住宅着工戸数(12月)◆

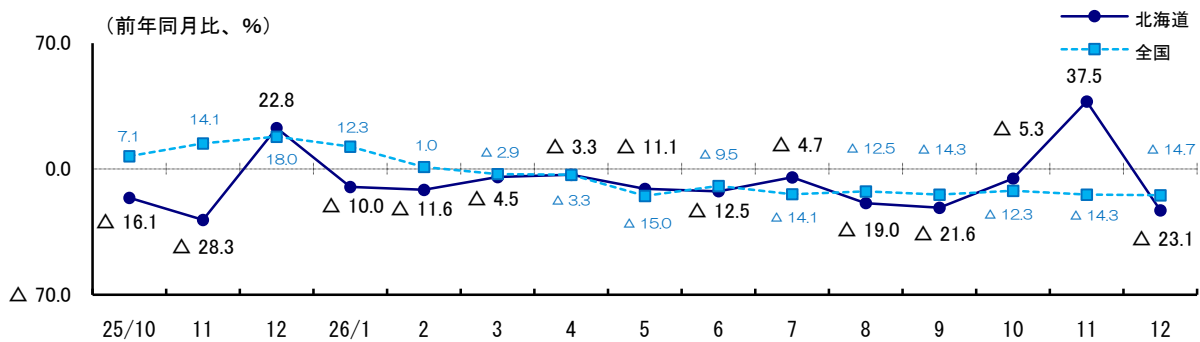
総戸数2,734戸、前年同月比23.1%減と2か月ぶりに前年を下回った。



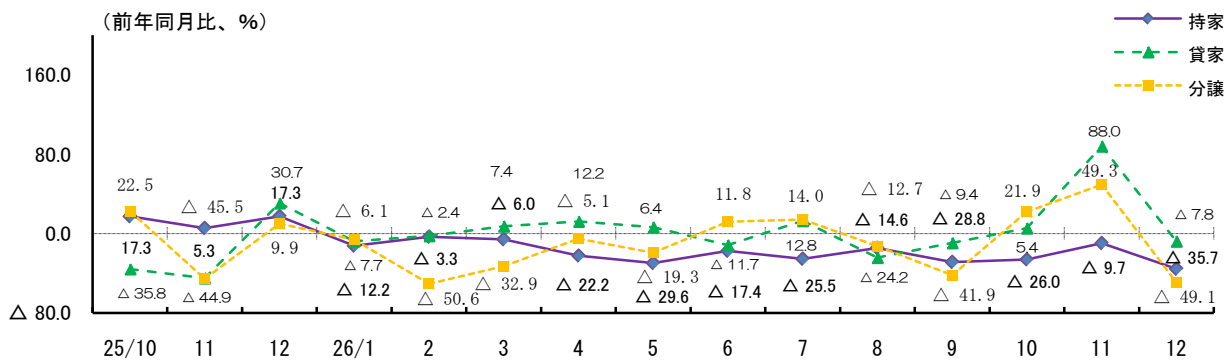
●分譲の内訳



※ 長屋建てを除くため、内訳と合計は一致しない。



持家、貸家、分譲の全てで前年を下回った。

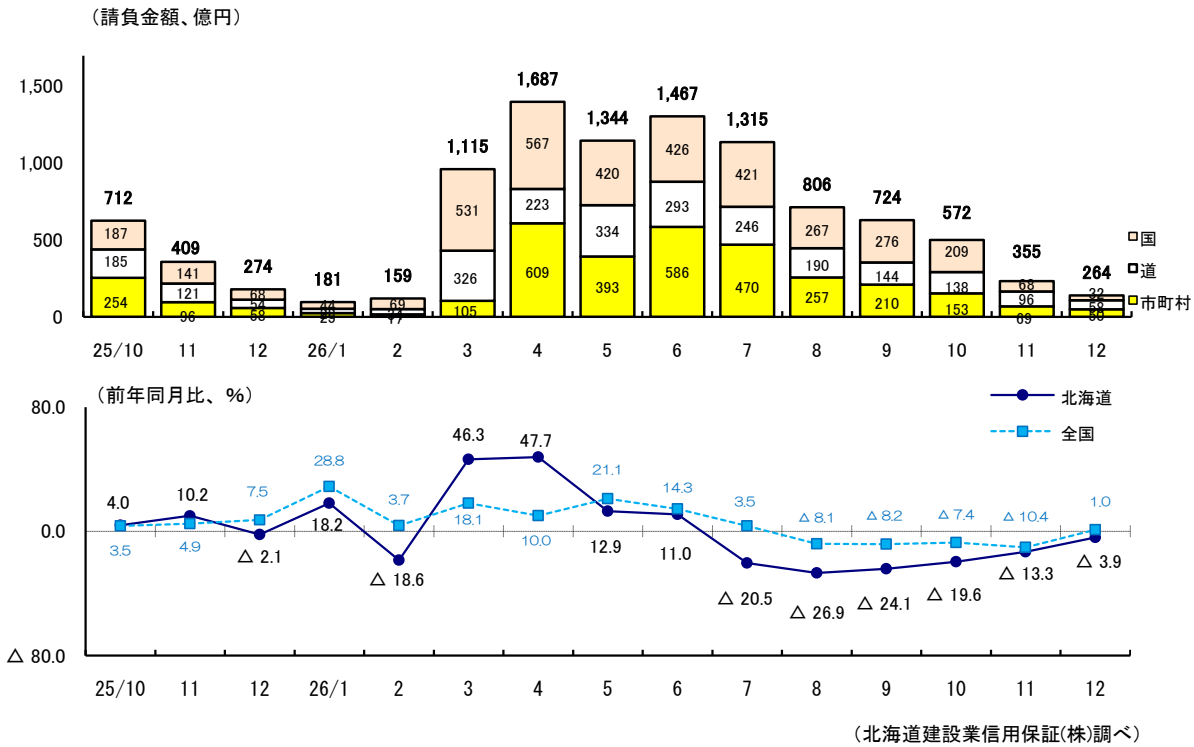


(国土交通省調べ)

■公共工事～ 前年度と同水準にあるものの、減少傾向となっている

◆公共工事請負金額（12月）◆

請負金額は264億円、前年同月比3.9%減と6か月連続で前年を下回った。

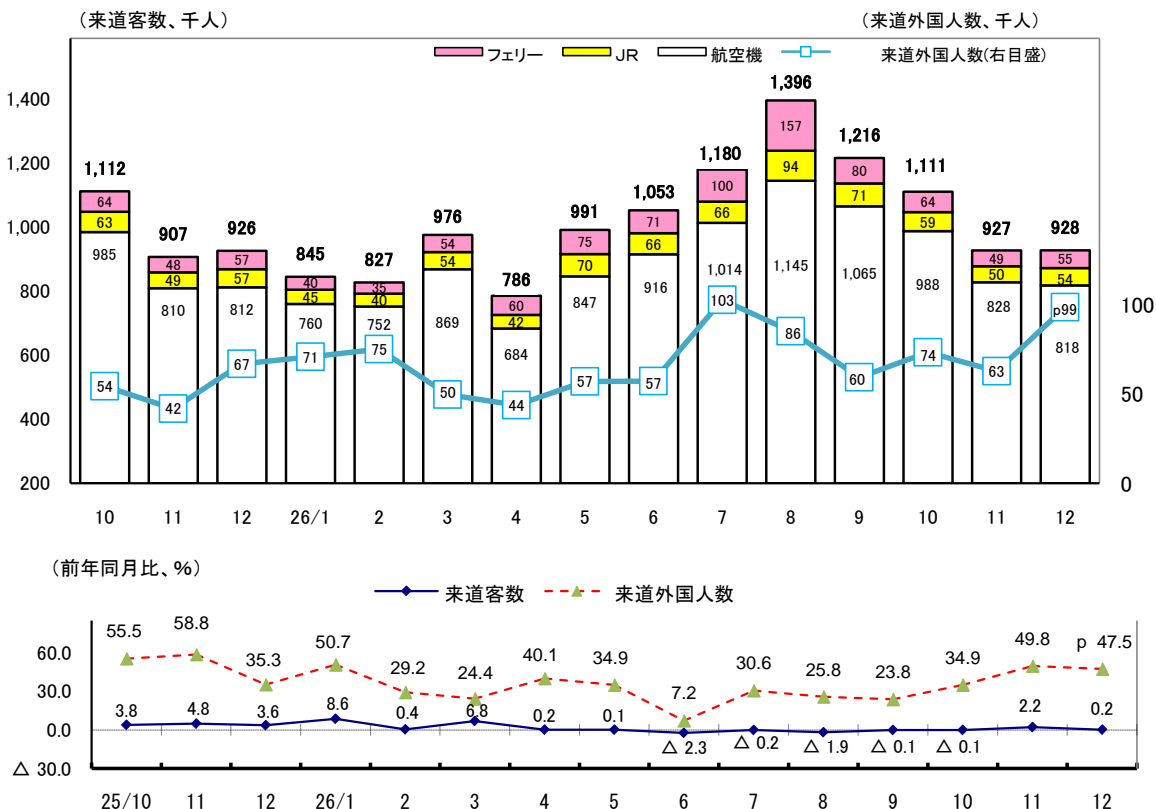


■観 光～ 緩やかに回復している

◆来道客数（12月）◆

来道客数は93万人、前年同月比0.2%増と2か月連続で前年を上回った。

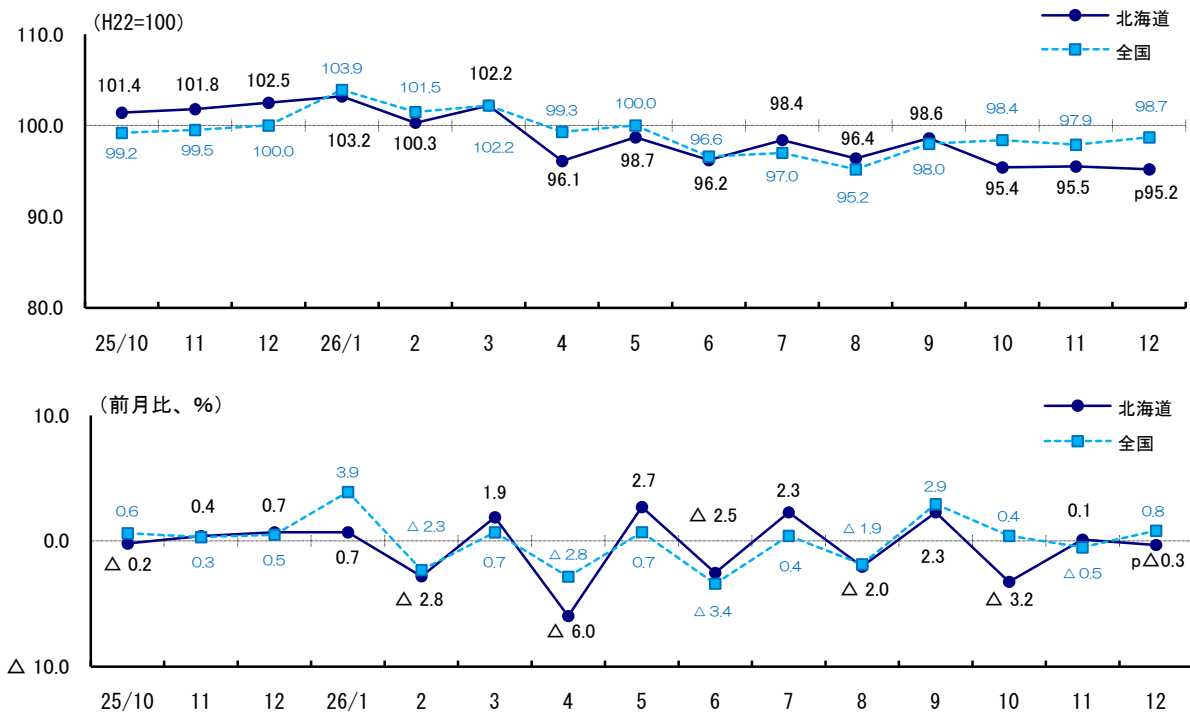
なお、本道に直接入国した外国人は10万人で、前年同月比47.5%増と23か月連続で前年を上回った。



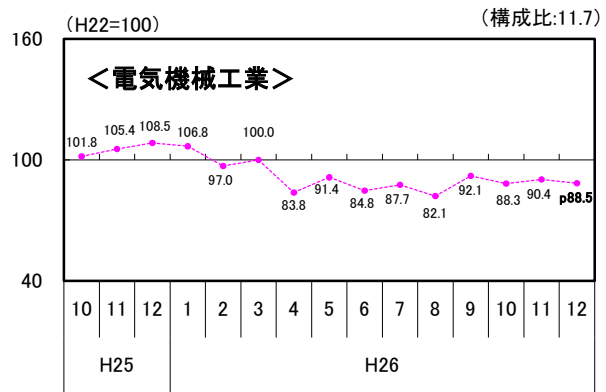
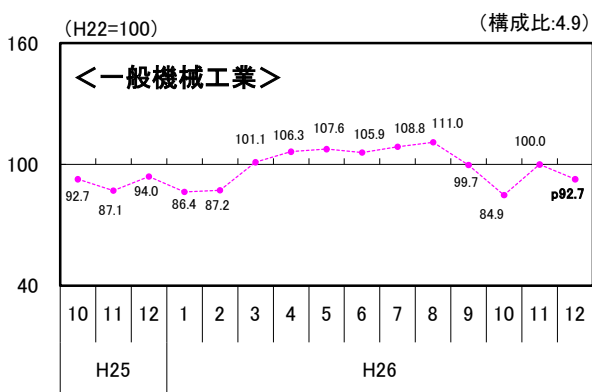
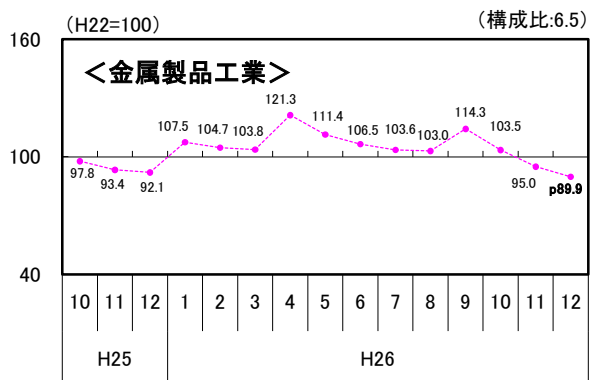
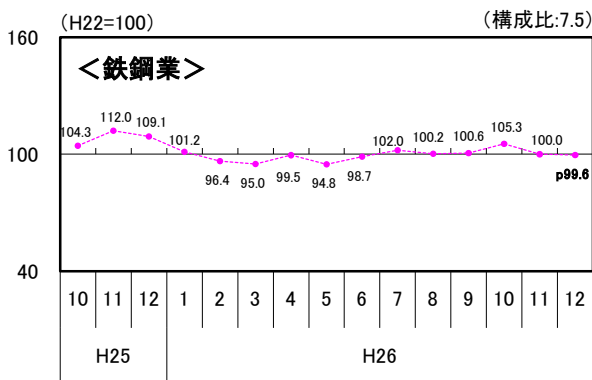
■生産活動～ 横ばい傾向ながら弱い動きもみられる

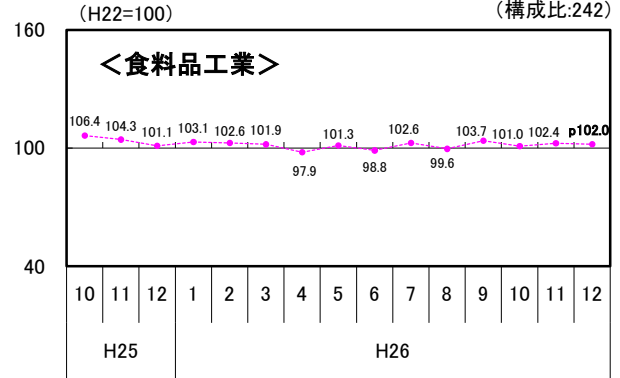
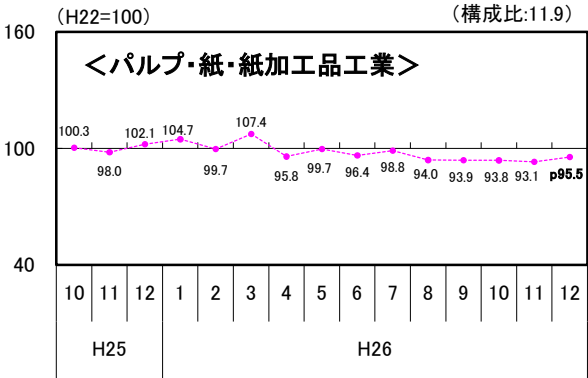
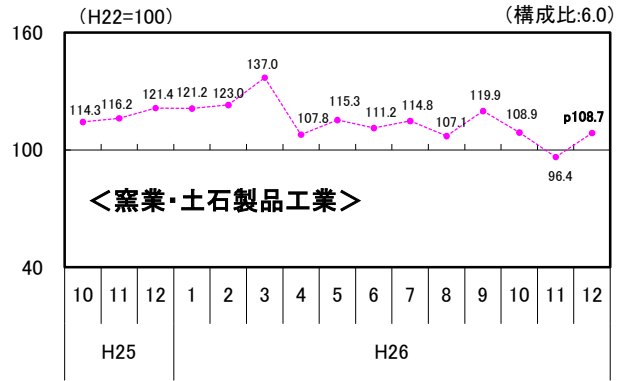
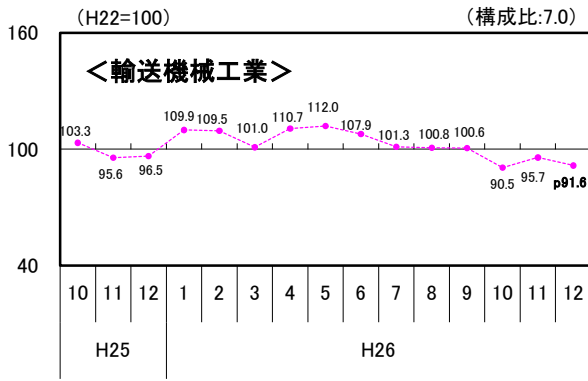
◆鉱工業生産指数（12月）◆

季節調整済指数で95.2、前月比0.3%減と2か月ぶりに低下した。



業種別では、季節調整済指数で、窯業・土石製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業が上昇したものの、鉄鋼業、金属製品工業、一般機械工業、電気機械工業、輸送機械工業、食品工業は低下した。



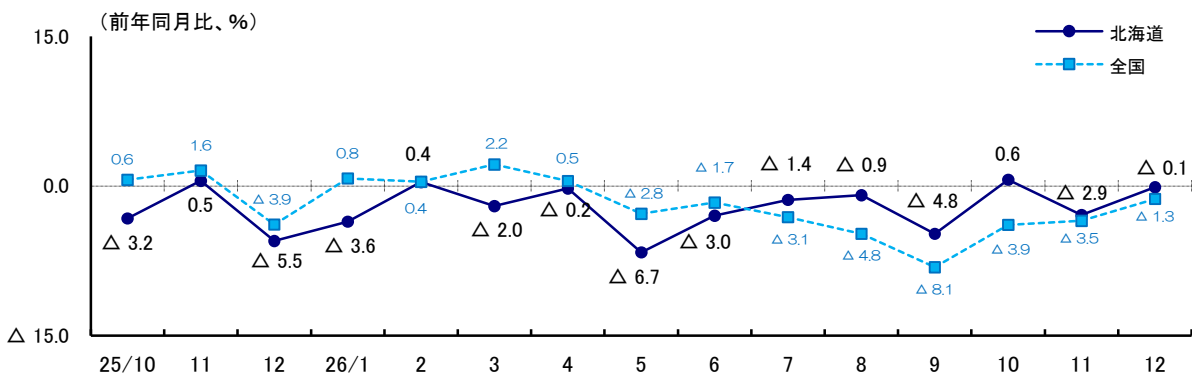
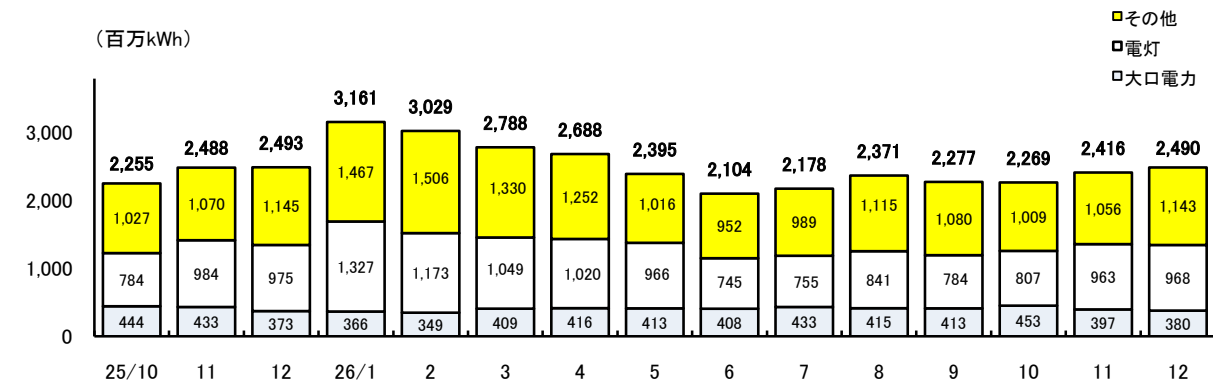


(北海道経済産業局、経済産業省調べ)

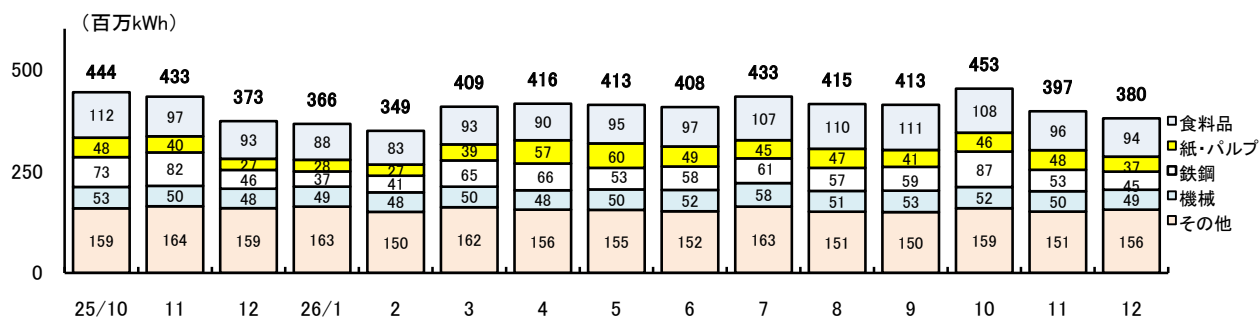
■ 電 力 ～ 電力需要は前年を下回り、大口電力は前年を上回った

◆ 電力需要（12月） ◆

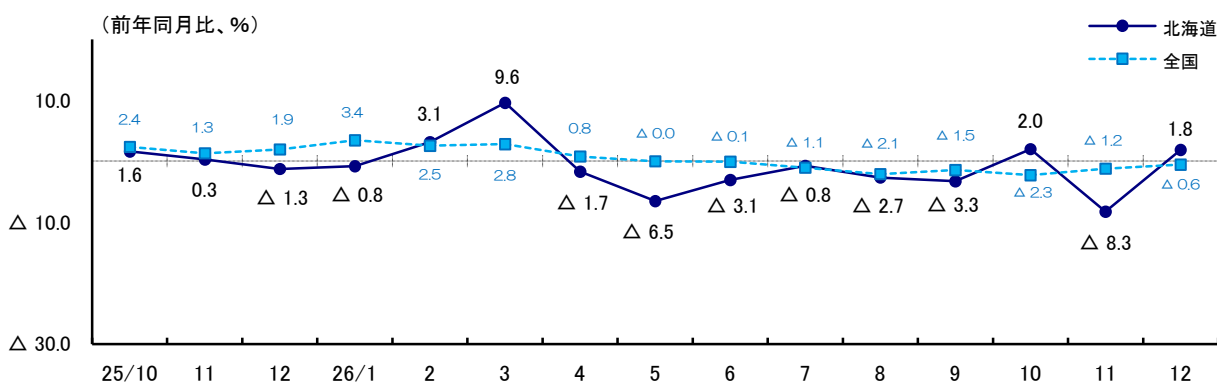
電力需要は2,490百万kWh、前年同月比0.1%減と2か月連続で前年を下回り、産業用需要の大口電力は380百万kWh、同1.8%増と2か月ぶりに前年を上回った。



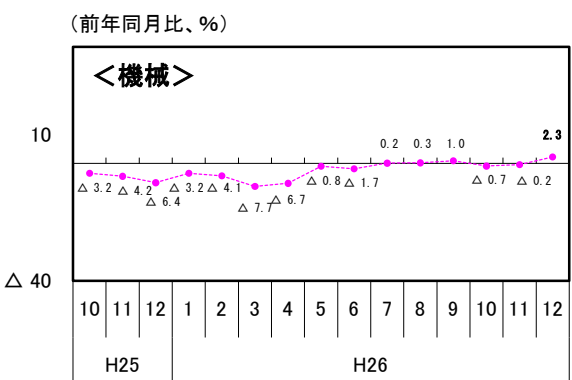
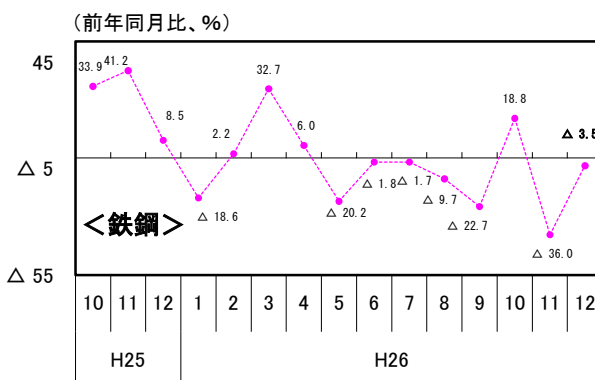
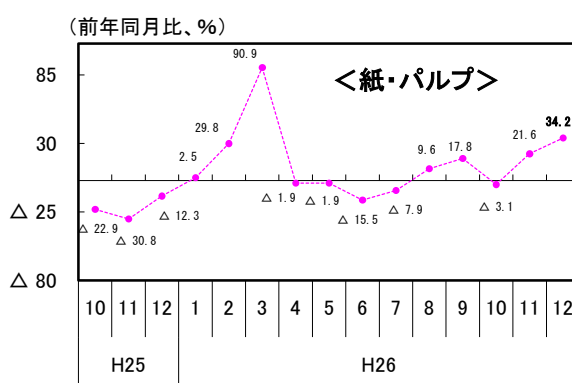
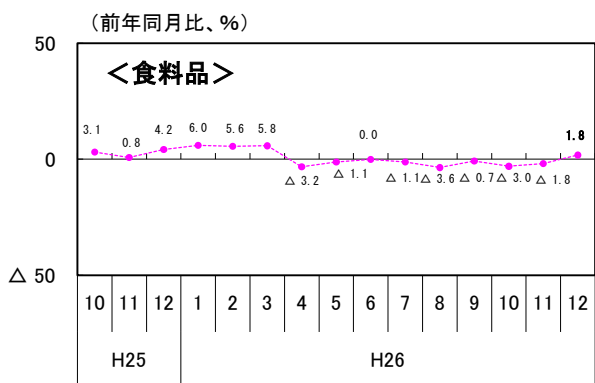
● 大口電力の内訳



● 大口電力の推移



業種別の大口電力では、食料品、紙・パルプ、機械が前年を上回ったが、鉄鋼は前年を下回った。

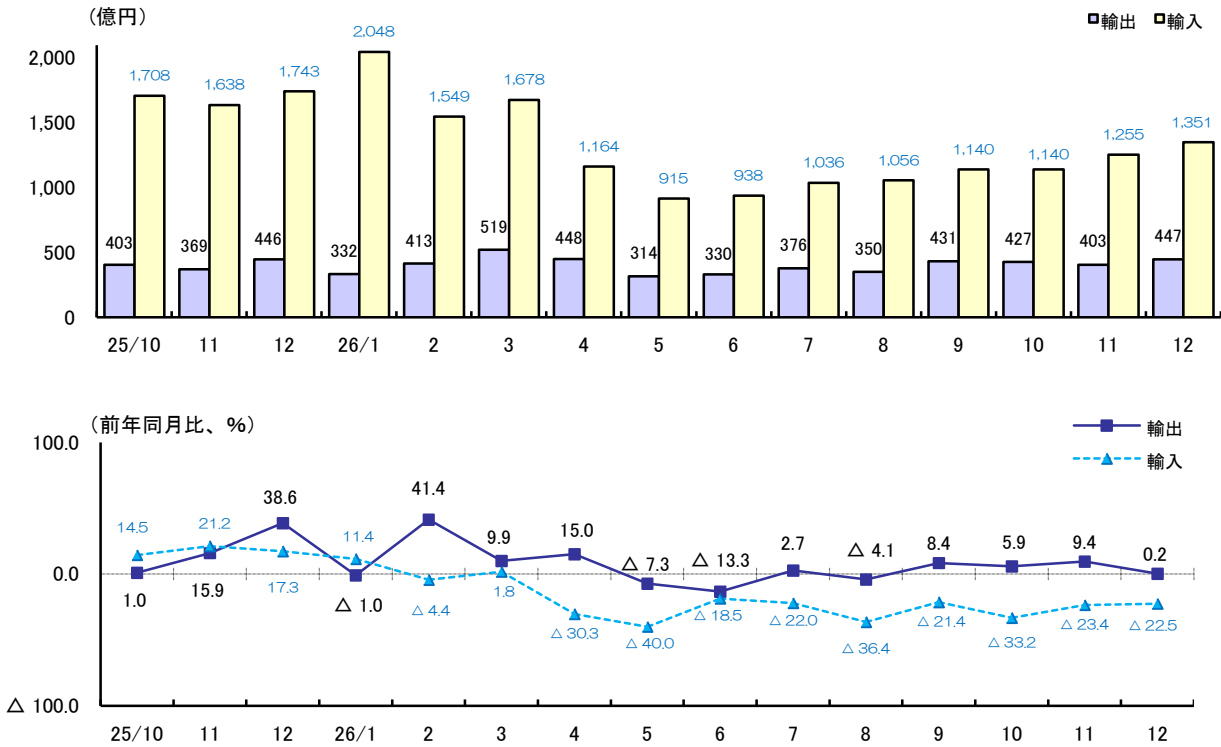


(電気事業連合会調べ)

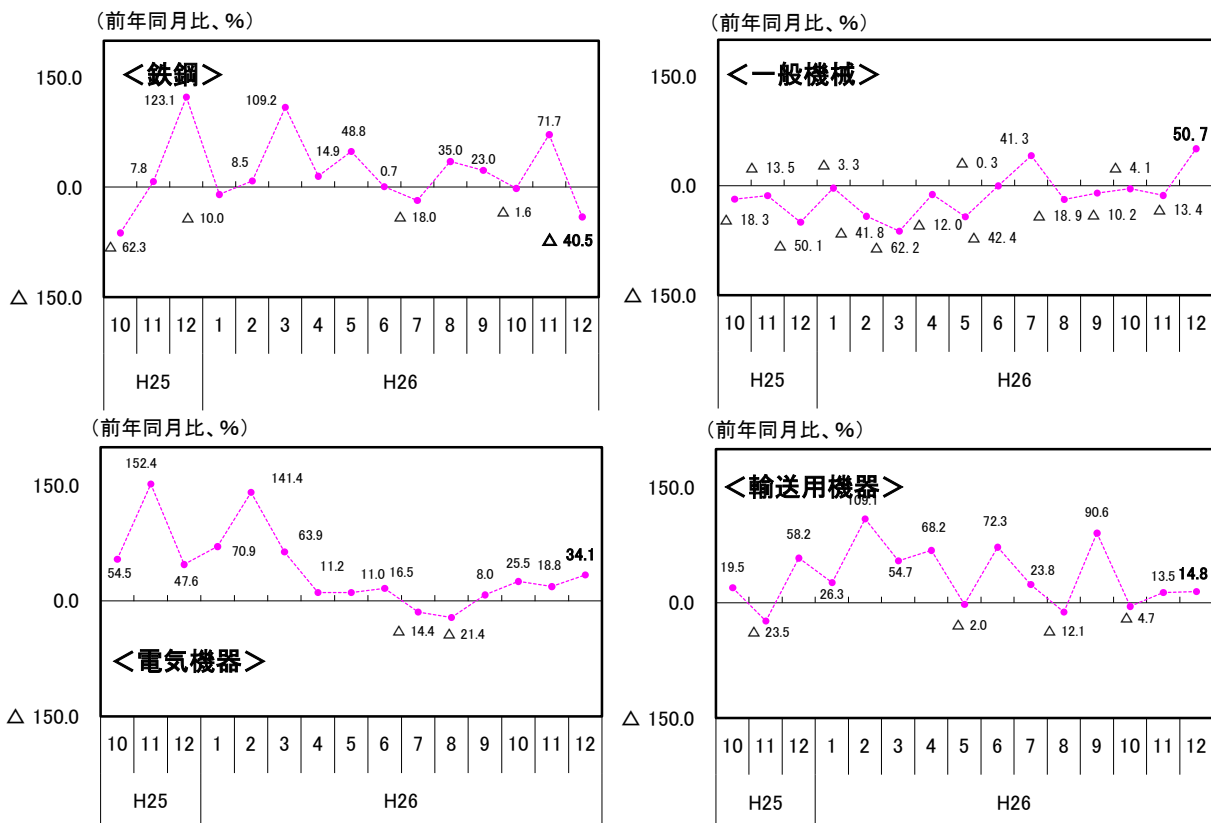
■輸出入～ 輸出額は前年を上回り、輸入額は前年を下回った

◆輸出入額（12月）◆

輸出額は447億円、前年同月比0.2%増と4か月連続で前年を上回り、輸入額は1,351億円、同22.5%減と9か月連続で前年を下回った。



輸出品別では、一般機械、電気機器、輸送用機器が前年を上回ったが、鉄鋼は前年を下回った。

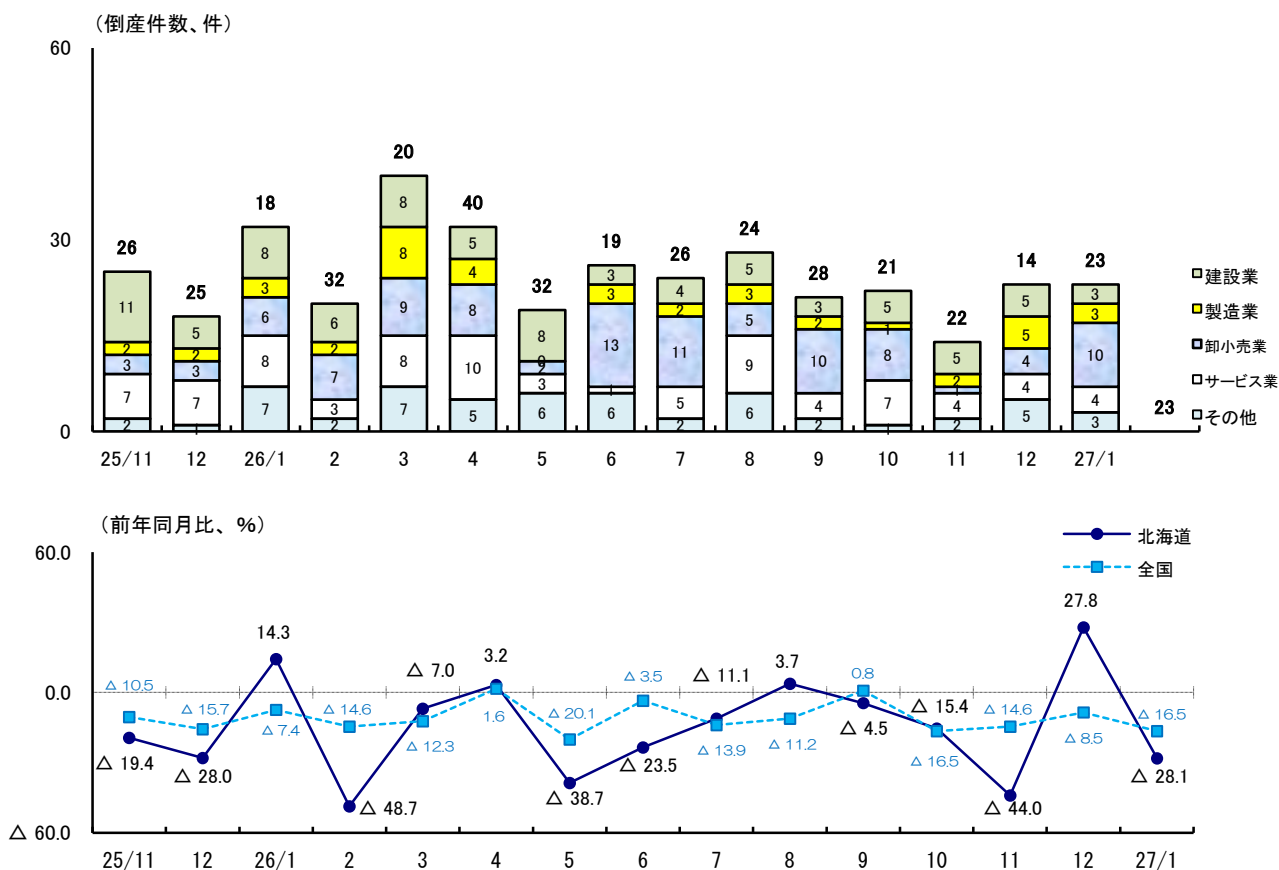


(財務省、函館税関調べ)

■企業倒産 ～ 件数、負債総額とも前年を下回った

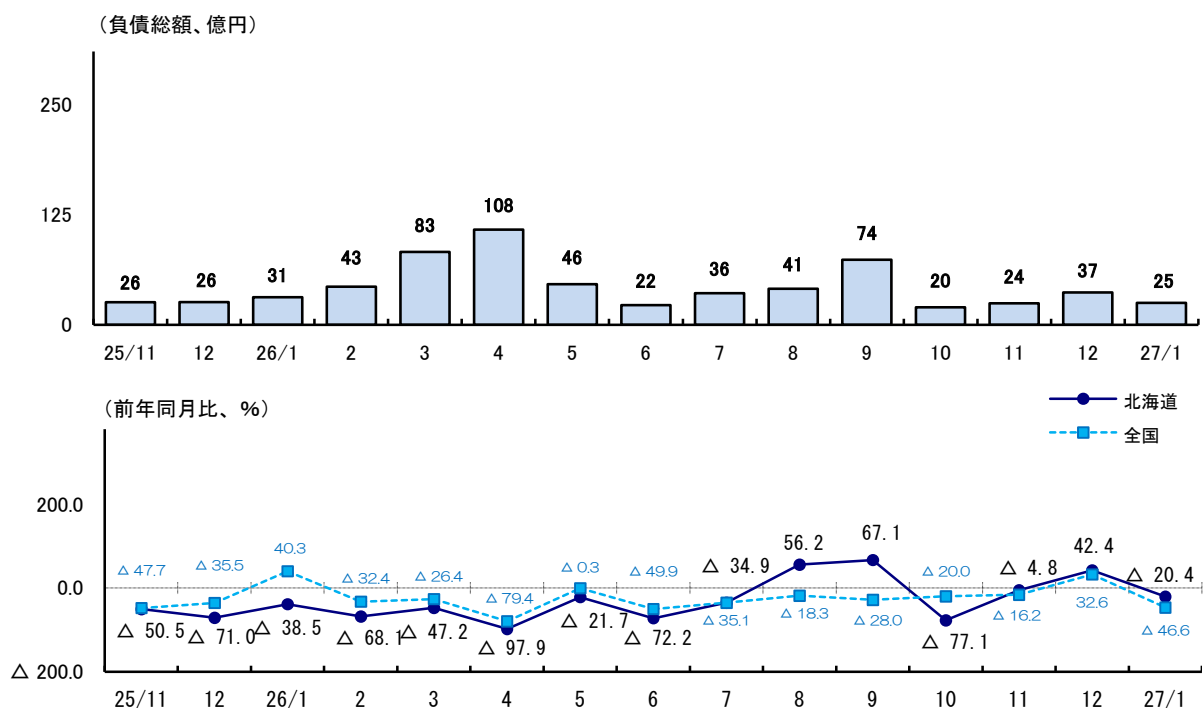
◆企業倒産件数（1月）◆

企業倒産件数は23件、前年同月比28.1%減と2か月ぶりに前年を下回った。



◆負債総額（1月）◆

負債総額は25億円、前年同月比20.4%減と2か月ぶりに前年を下回った。

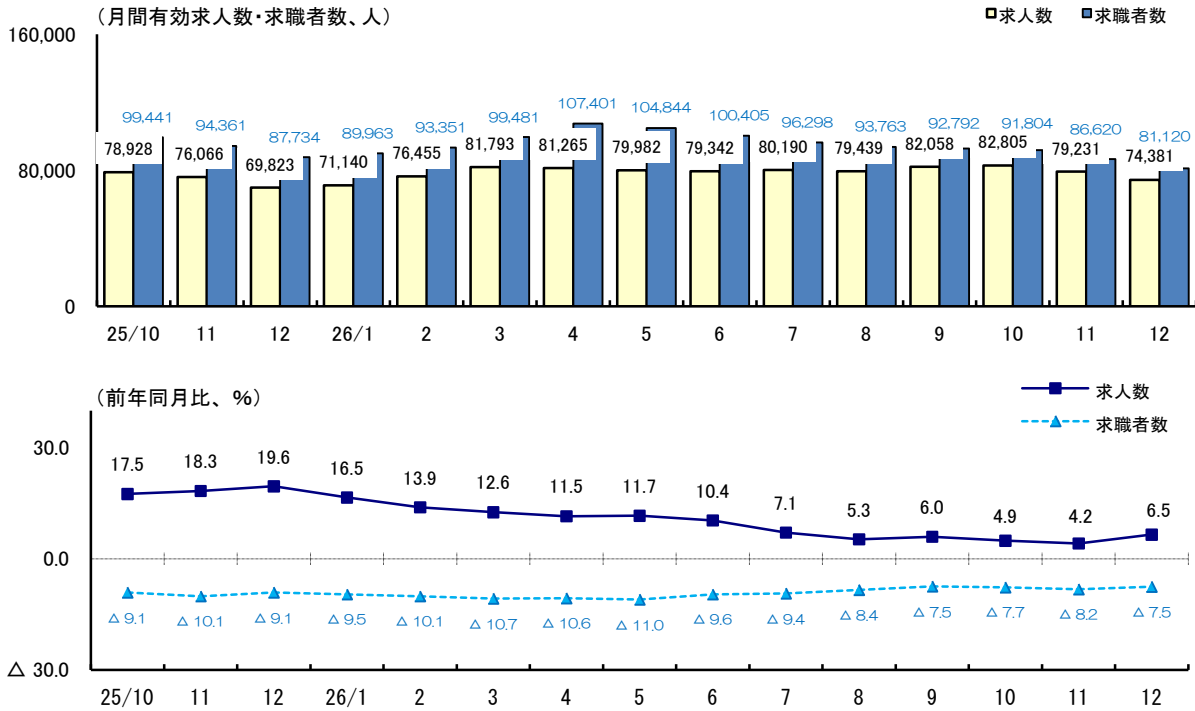


(東京商工リサーチ北海道支社調べ)

■雇 用 ～ 厳しさは残るものの、緩やかに改善している

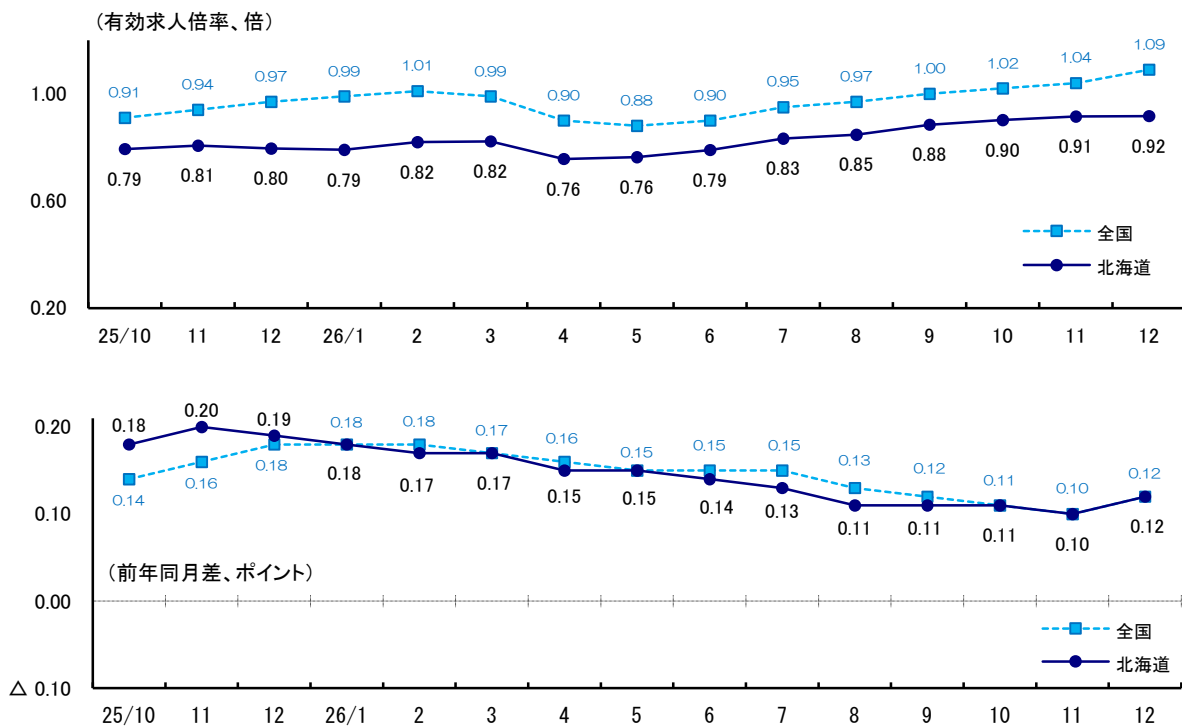
◆月間有効求人数・求職者数（12月）◆

月間有効求人数は7万4,381人、前年同月比6.5%増と59か月連続で前年を上回り、月間有効求職者数は8万1,120人、前年同月比7.5%減と38か月連続で前年を下回った。



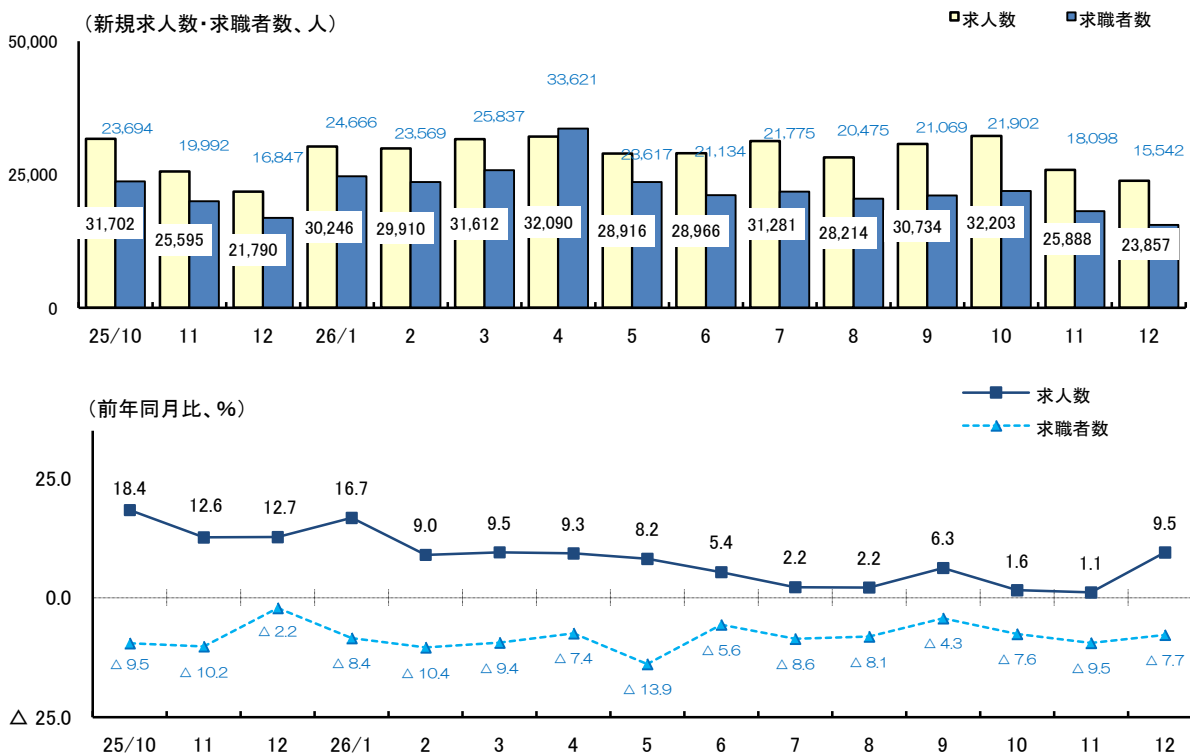
◆有効求人倍率（12月）◆

有効求人倍率は0.92倍、前年同月差では0.12ポイント増となり、59か月連続で前年を上回った。



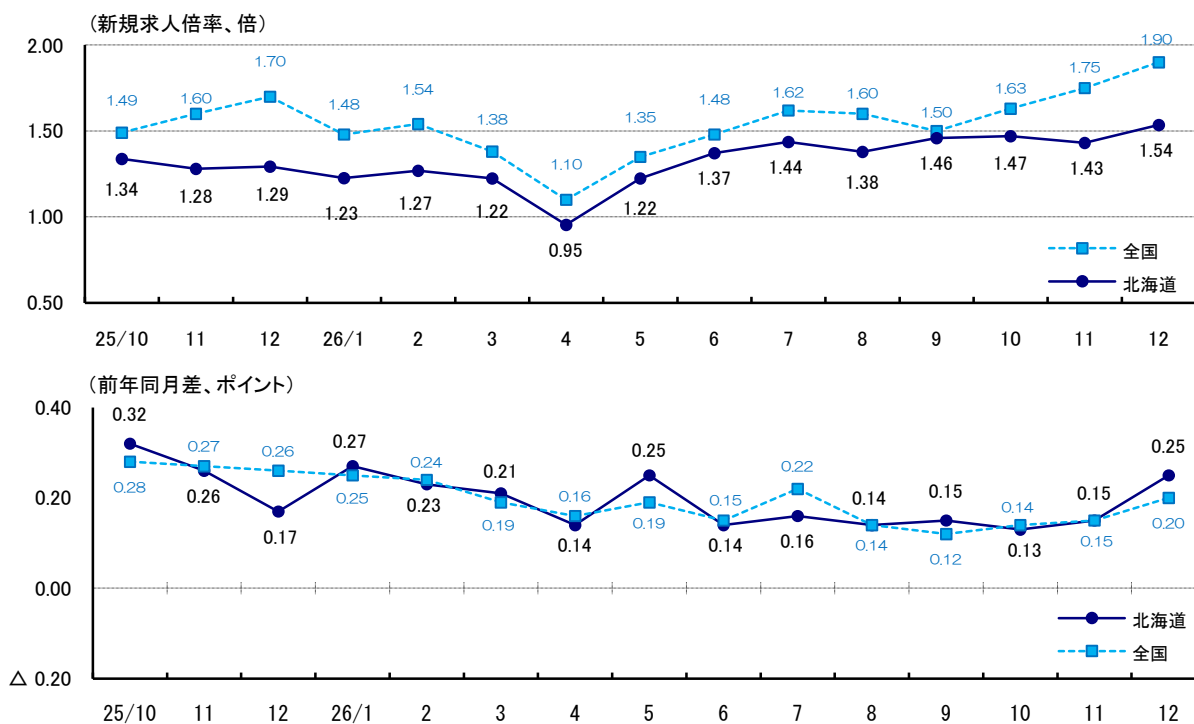
◆新規求人数・求職者数（12月）◆

新規求人数は2万3,857人、前年同月比9.5%増と59か月連続で前年を上回り、新規求職者数は1万5,542人、前年同月比7.7%減と17か月連続で前年を下回った。



◆新規求人倍率（12月）◆

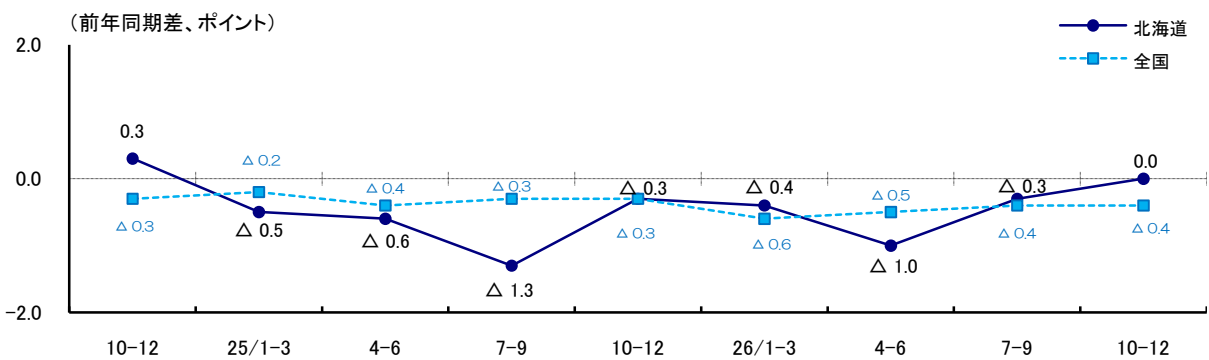
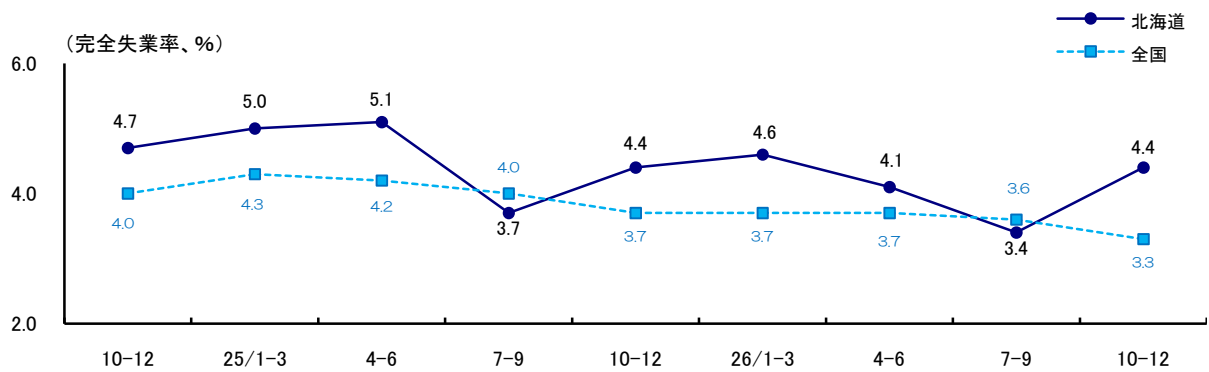
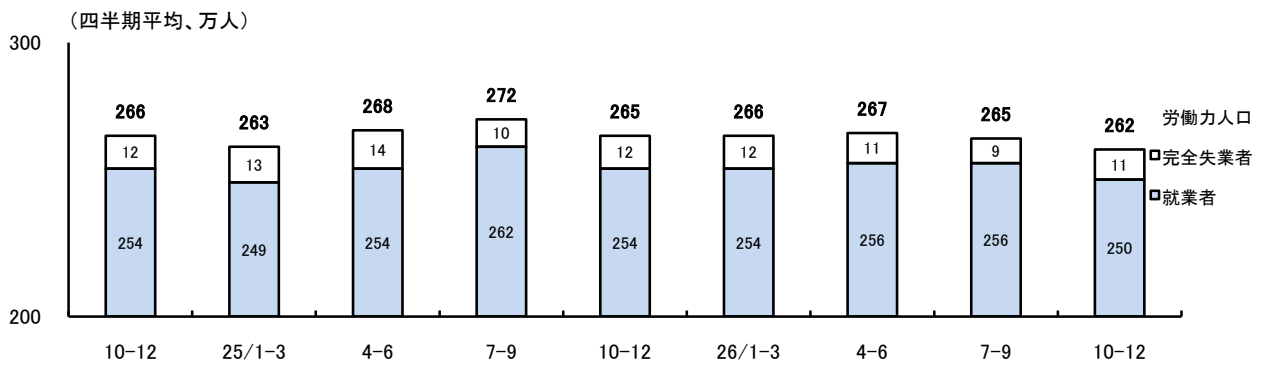
新規求人倍率は1.54倍、前年同月差では0.25ポイント増となり、43か月連続で前年を上回った。



(北海道労働局、厚生労働省調べ)

◆完全失業者数、完全失業率（26年10-12月期）◆

完全失業者数は11万人と前年同期に比べ1万人の減少、完全失業率は4.4%、前年同期と同率であった。

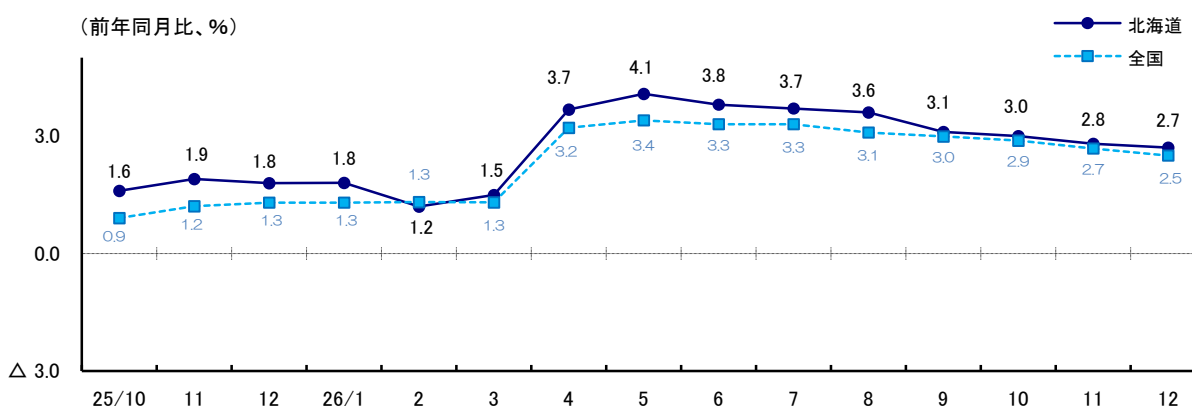
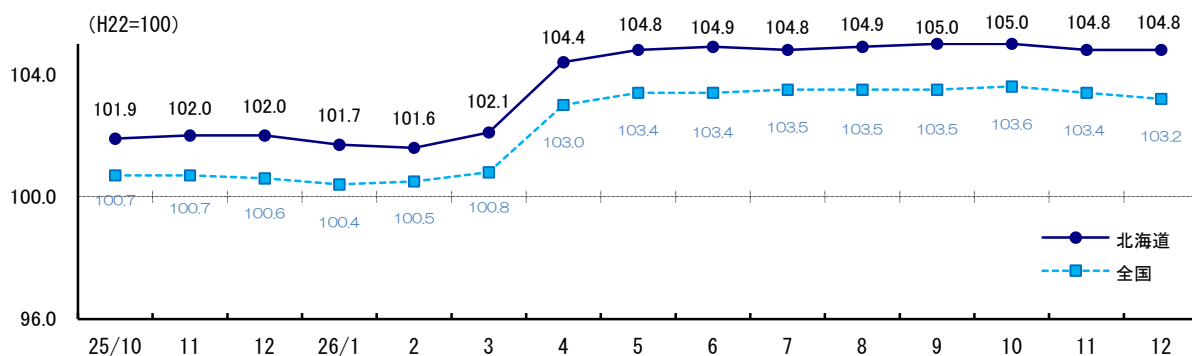


(総務省調べ)

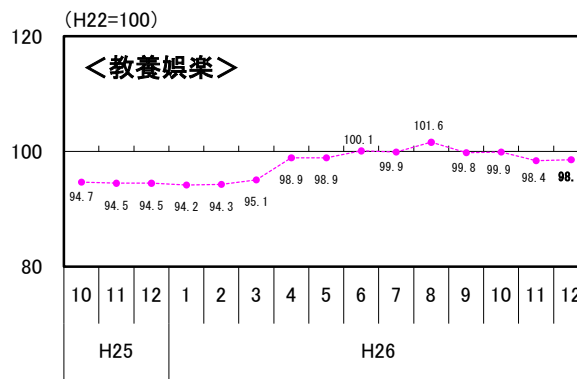
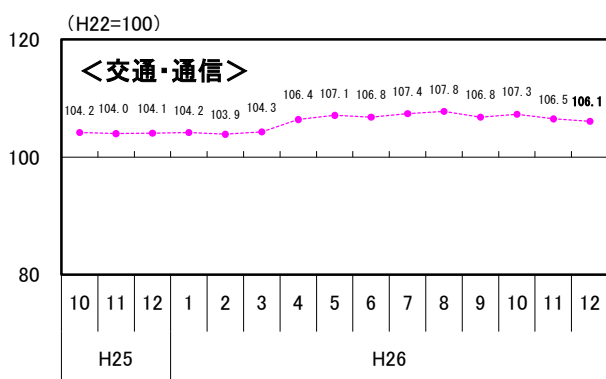
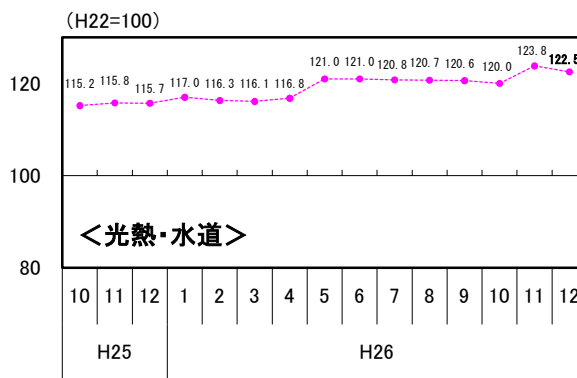
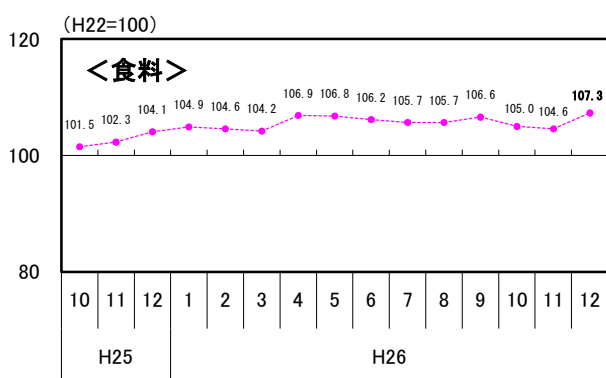
■物 価 ～ 消費者物価指数は前年を上回った

◆消費者物価指数（12月）◆

生鮮食品を除く総合で104.8、前年同月比2.7%増と20か月連続で前年を上回った。



前月からの動きを費目別でみると、食料、教養娯楽が上昇し、光熱・水道、交通・通信は低下した。

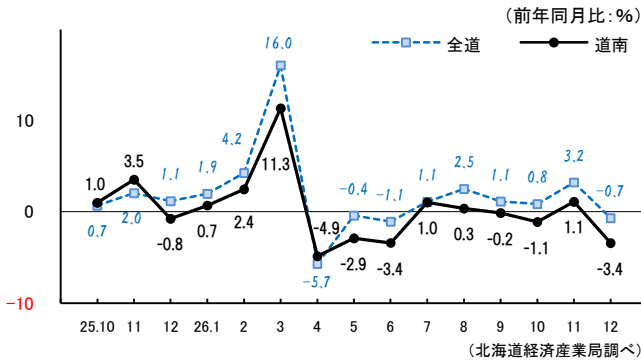


（総務省統計局調べ）

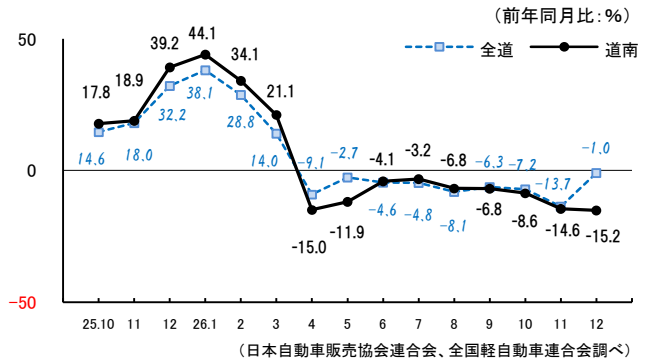
■ 地域の経済動向

道南圏

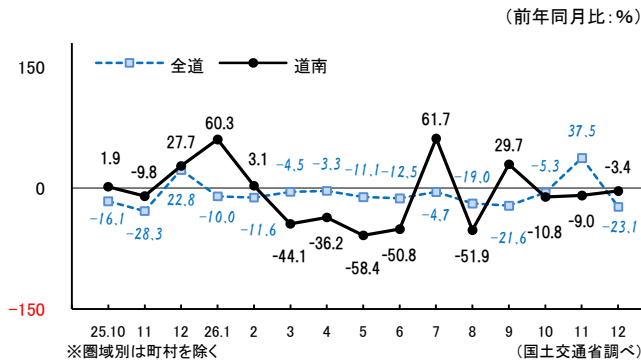
◆大型小売店販売額(全店、函館市) (12月)◆ 2か月ぶりに前年を下回った



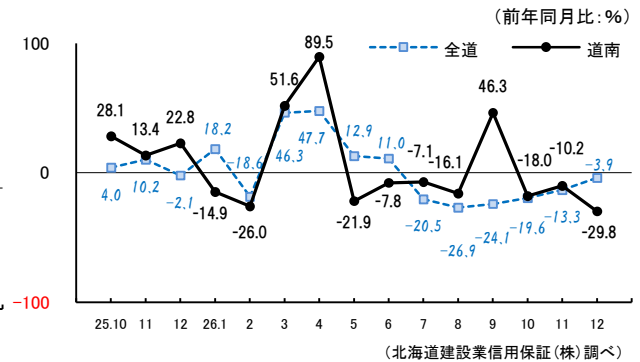
◆新車登録台数(乗用車) (12月)◆ 9か月連続で前年を下回った



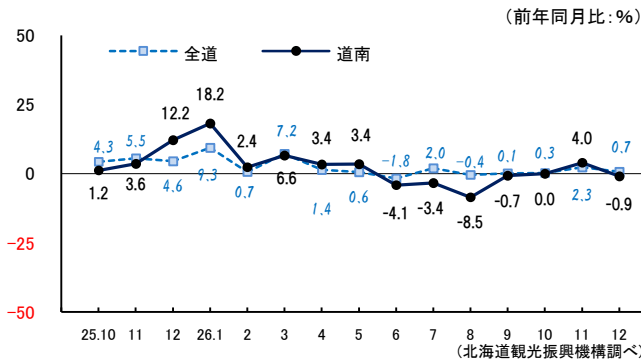
◆新設住宅着工戸数(12月)◆ 3か月連続で前年を下回った



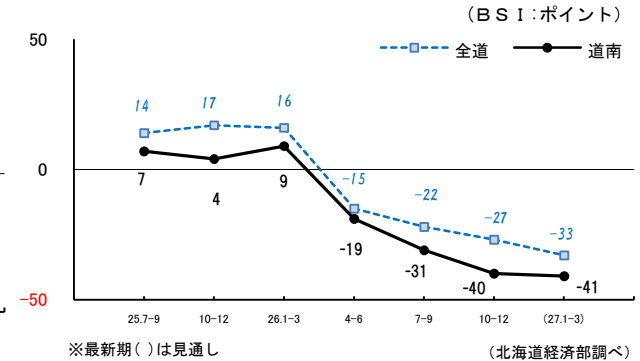
◆公共工事請負金額(12月)◆ 3か月連続で前年を下回った



◆航空機利用による来道者数(着地別) (12月)◆ 3か月ぶりに前年を下回った

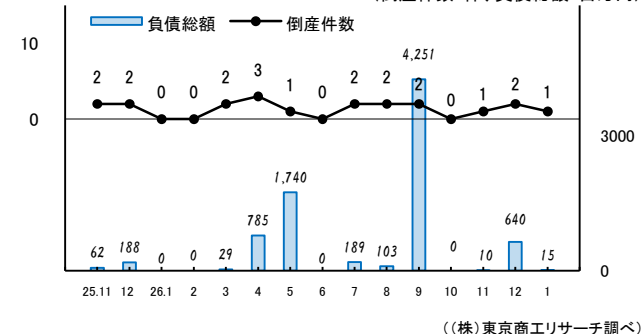


◆企業の業況感(10-12月期)◆ 前期からマイナス幅が拡大した



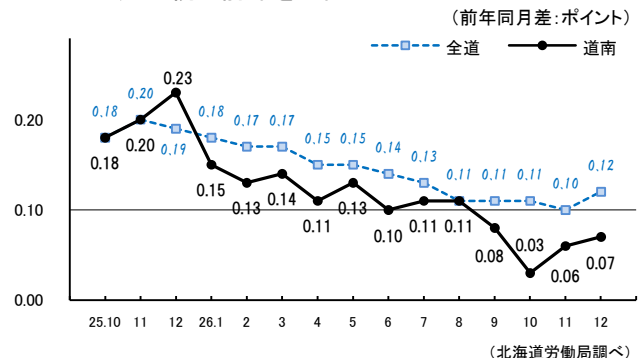
◆企業倒産(1月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



◆有効求人倍率(12月)◆

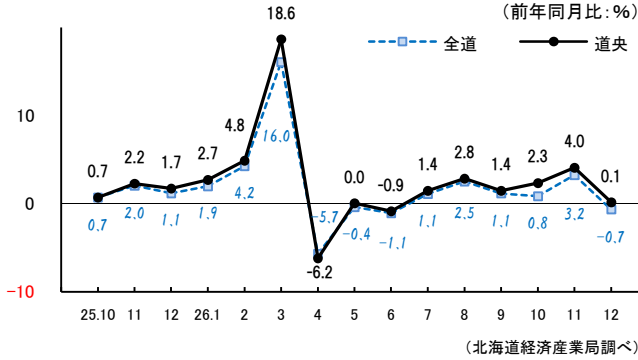
55か月連続で前年を上回った



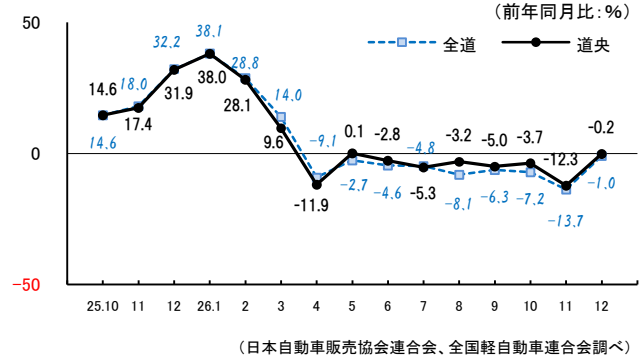
■ 地域の経済動向

道央圏

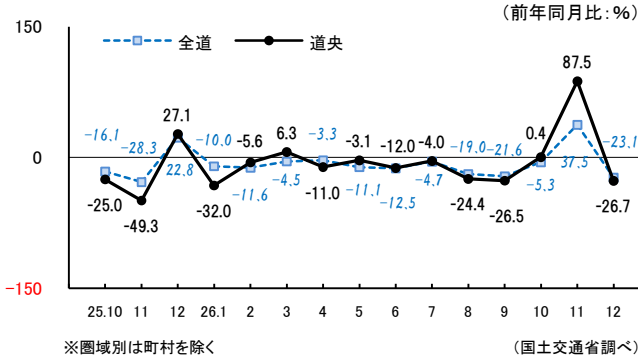
◆大型小売店販売額(12月)◆
 (全店、札幌市・小樽市・苫小牧市・室蘭市)
 6か月連続で前年を上回った



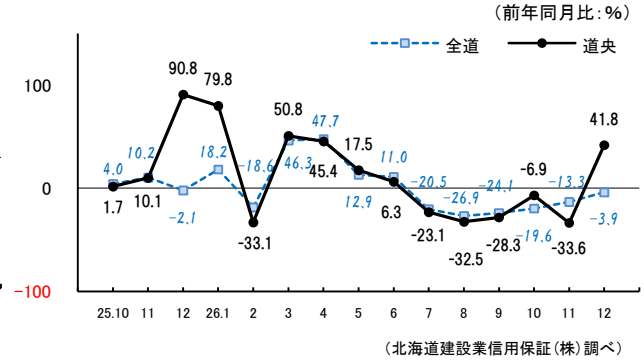
◆新車登録台数(乗用車)(12月)◆
 7か月連続で前年を下回った



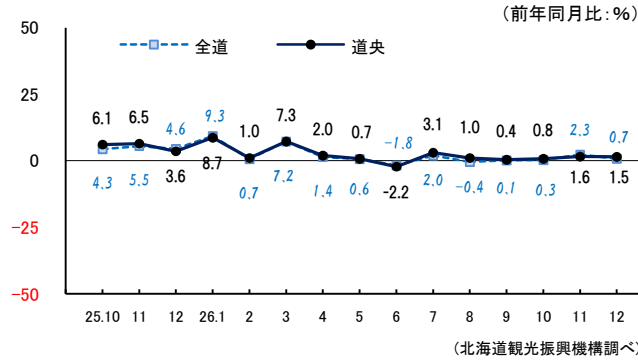
◆新設住宅着工戸数(12月)◆
 3か月ぶりに前年を下回った



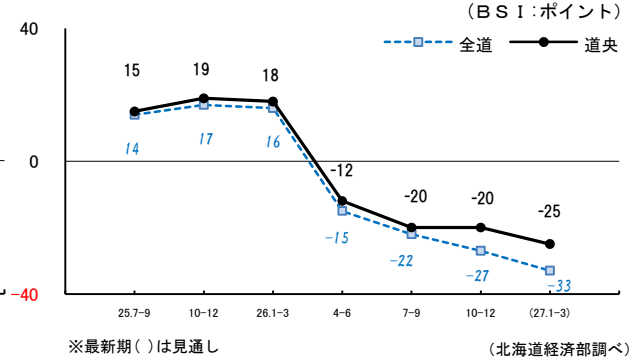
◆公共工事請負金額(12月)◆
 6か月ぶりに前年を上回った



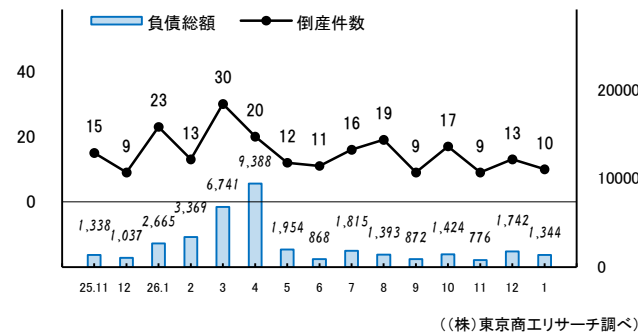
◆航空機利用による来道者数(着地別)(12月)◆
 6か月連続で前年を上回った



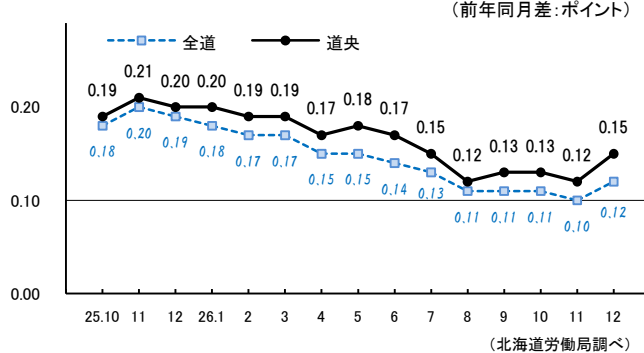
◆企業の業況感(10-12月期)◆
 前期と同水準だった



◆企業倒産(1月)◆
 10億円以上の大型倒産は発生しなかった
 (倒産件数:件、負債総額:百万円)



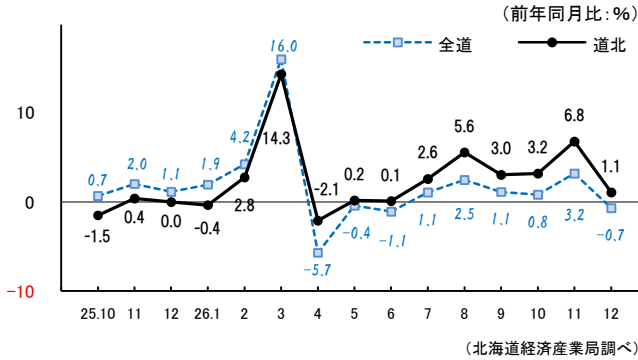
◆有効求人倍率(12月)◆
 58か月連続で前年を上回った



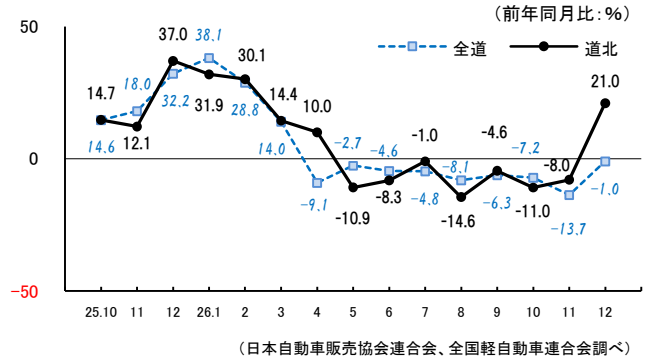
■ 地域の経済動向

道北圏

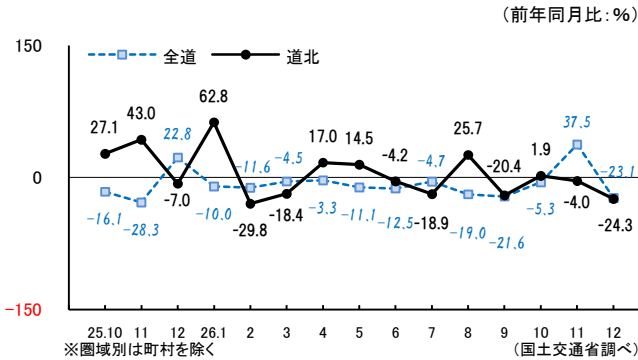
◆大型小売店販売額(全店、旭川市) (12月)◆ 8か月連続で前年を上回った



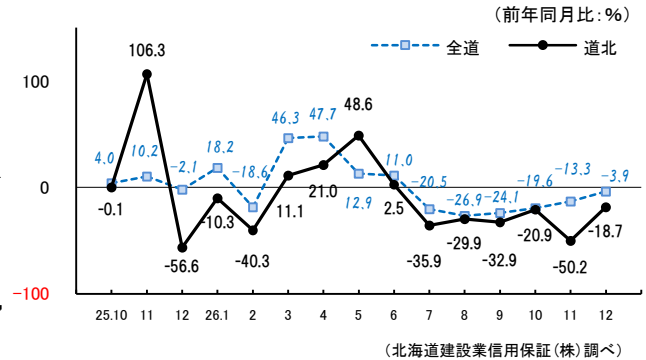
◆新車登録台数(乗用車) (12月)◆ 8か月ぶりに前年を上回った



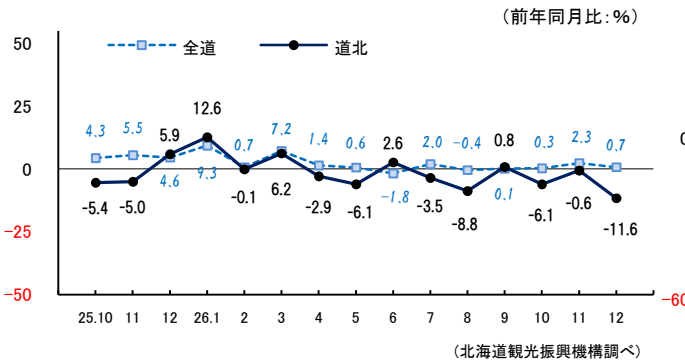
◆新設住宅着工戸数 (12月)◆ 2か月連続で前年を下回った



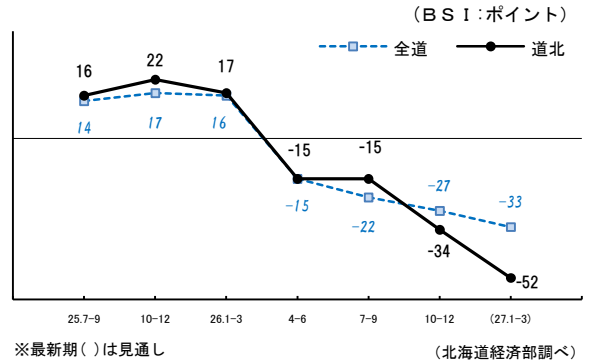
◆公共工事請負金額 (12月)◆ 6か月連続で前年を下回った



◆航空機利用による来道者数(着地別) (12月)◆ 3か月連続で前年を下回った



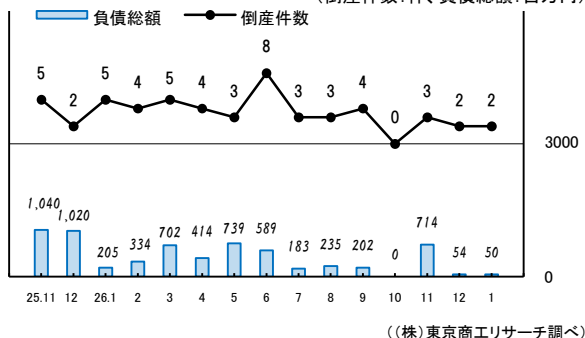
◆企業の業況感 (10-12月期)◆ 前期からマイナス幅が拡大した



◆企業倒産 (1月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

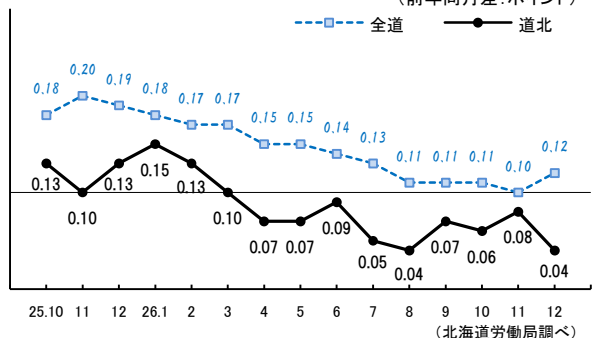
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



◆有効求人倍率 (12月)◆

60か月連続で前年を上回った

(前年同月差:ポイント)

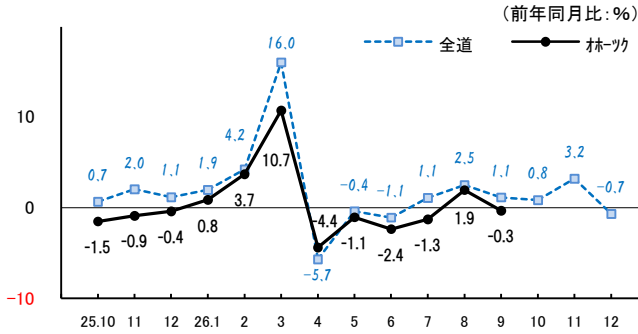


■ 地域の経済動向

オホーツク圏

◆主要小売店売上高(全店)(9月)◆

2か月ぶりに前年を下回った

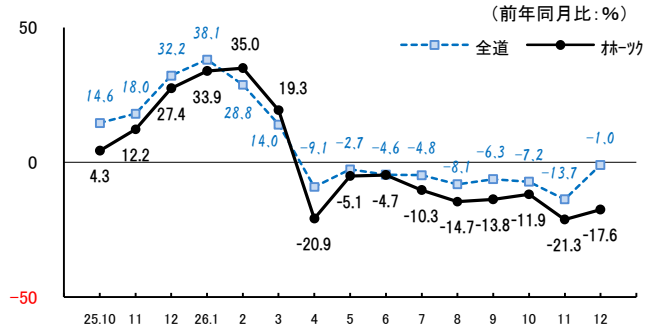


※全道は大型小売店販売額

(財務局北見出張所、北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数(乗用車)(12月)◆

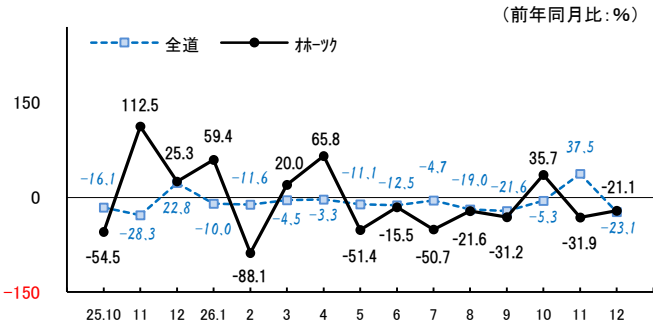
9か月連続で前年を下回った



(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会調べ)

◆新設住宅着工戸数(12月)◆

2か月連続で前年を下回った

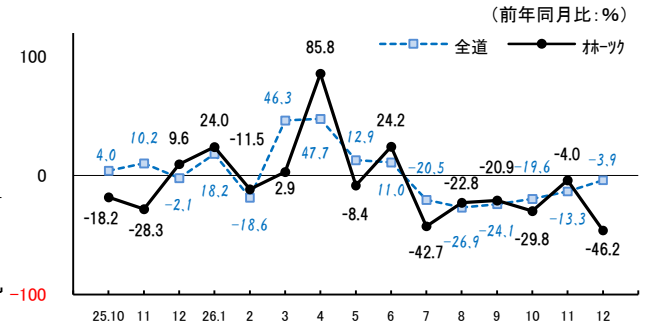


※圏域別は町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額(12月)◆

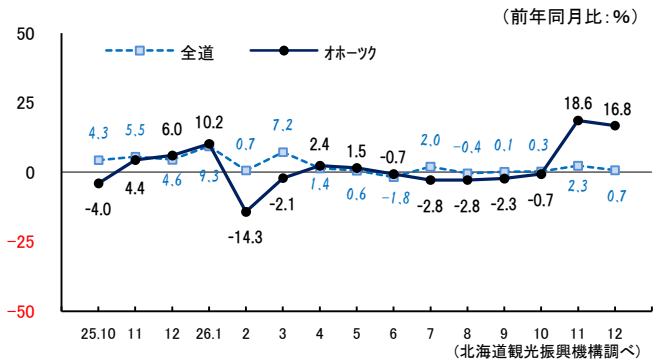
6か月連続で前年を下回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別)(12月)◆

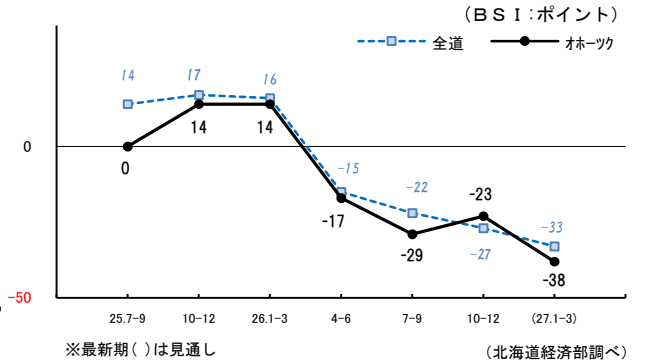
2か月連続で前年を上回った



(北海道観光振興機構調べ)

◆企業の業況感(10-12月期)◆

前期からマイナス幅が縮小した



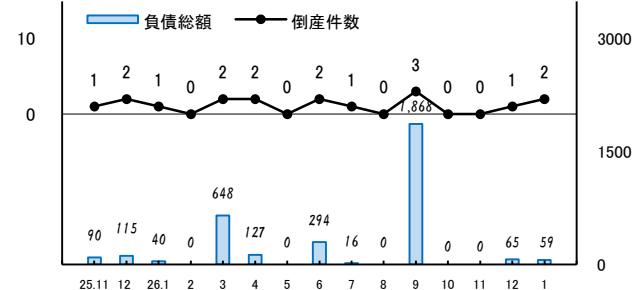
※最新期()は見直し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産(1月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

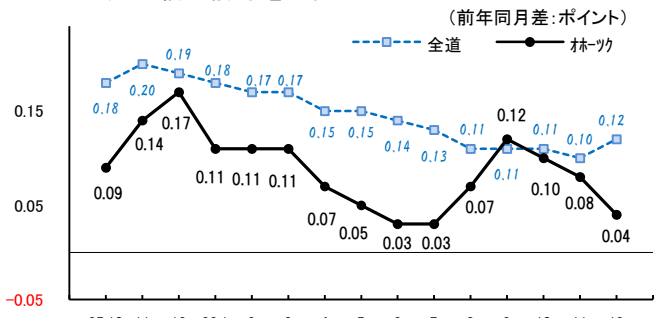
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



((株)東京商工リサーチ調べ)

◆有効求人倍率(12月)◆

21か月連続で前年を上回った

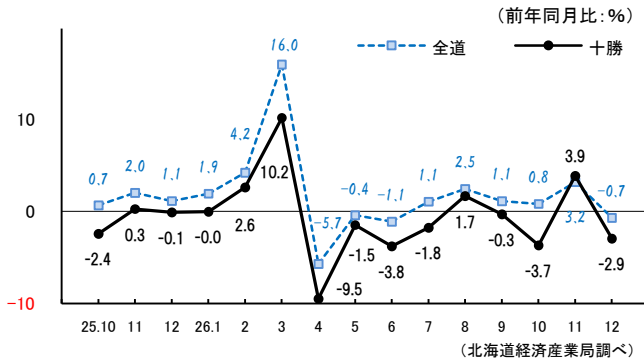


(北海道労働局調べ)

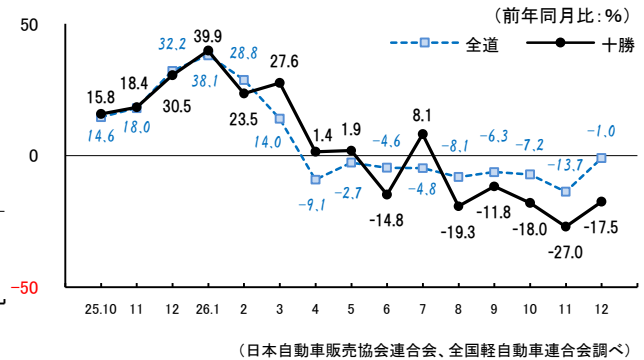
■ 地域の経済動向

十勝圏

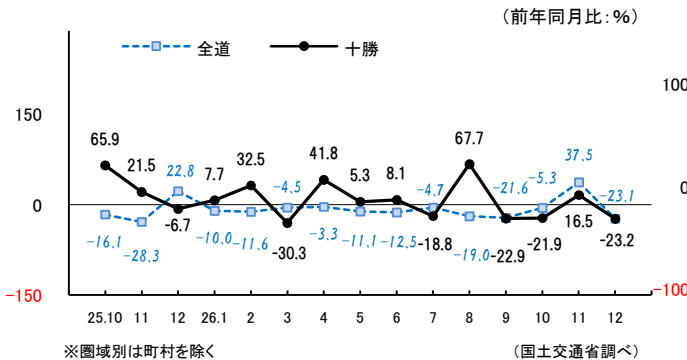
◆大型小売店販売額(全店、帯広市) (12月)◆ 2か月ぶりに前年を下回った



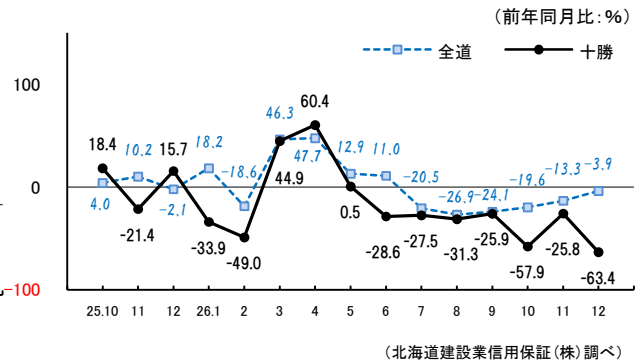
◆新車登録台数(乗用車) (12月)◆ 5か月連続で前年を下回った



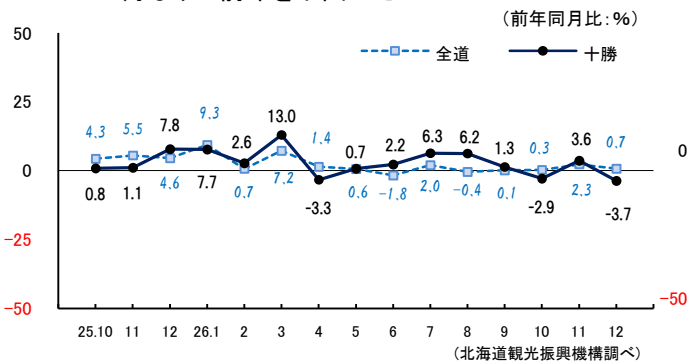
◆新設住宅着工戸数(12月)◆ 2か月ぶりに前年を下回った



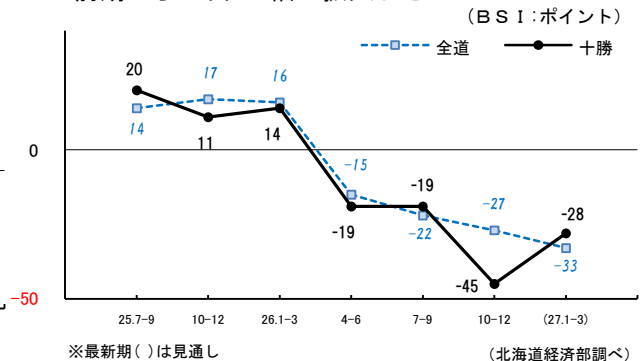
◆公共工事請負金額(12月)◆ 7か月連続で前年を下回った



◆航空機利用による来道者数(着地別) (12月)◆ 2か月ぶりに前年を下回った

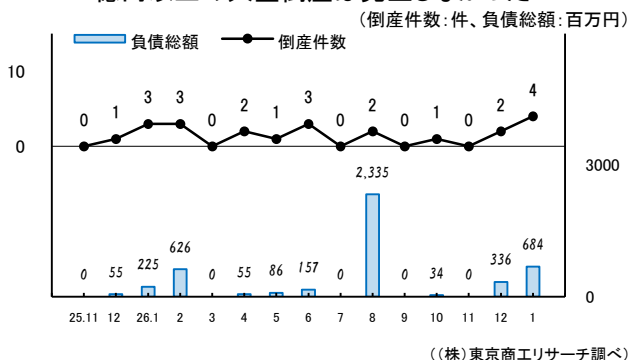


◆企業の業況感(10-12月期)◆ 前期からマイナス幅が拡大した



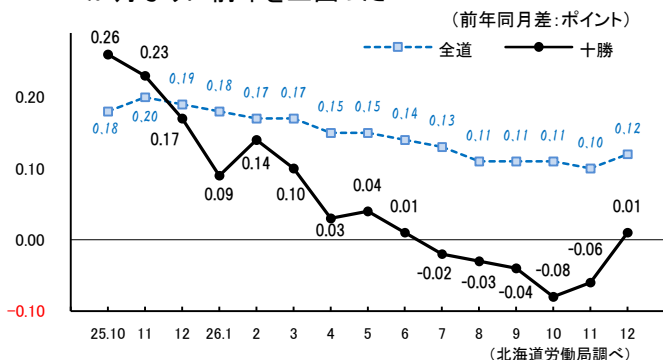
◆企業倒産(1月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった



◆有効求人倍率(12月)◆

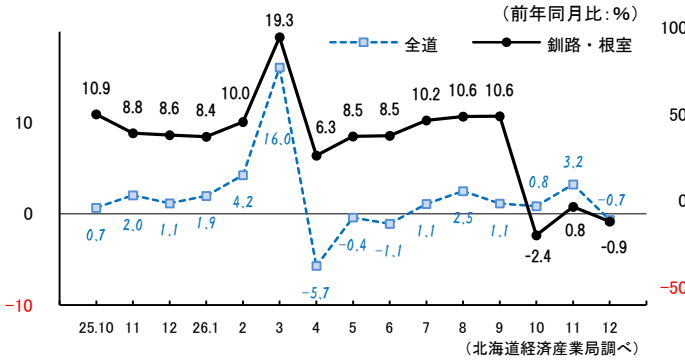
6か月ぶりに前年を上回った



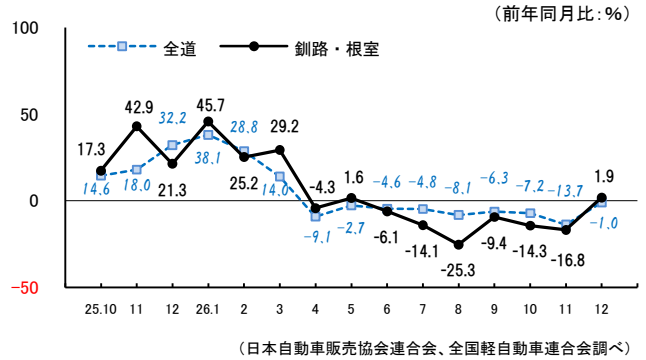
■ 地域の経済動向

釧路・根室圏

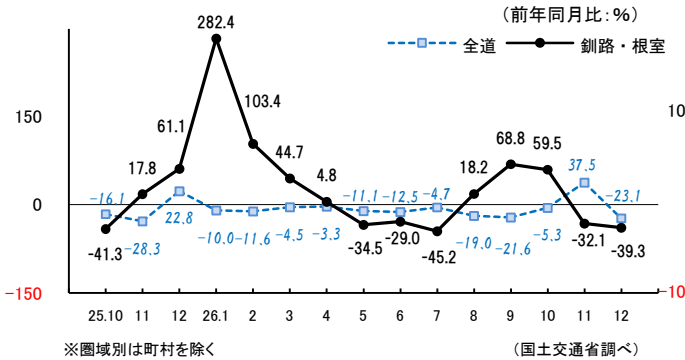
◆大型小売店販売額(全店、釧路市) (12月)◆ 2か月ぶりに前年を下回った



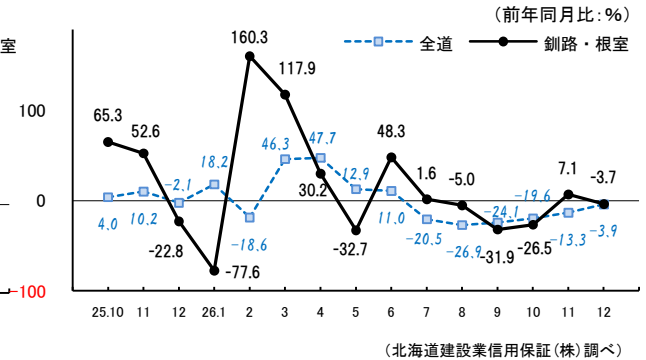
◆新車登録台数(乗用車) (12月)◆ 7か月ぶりに前年を上回った



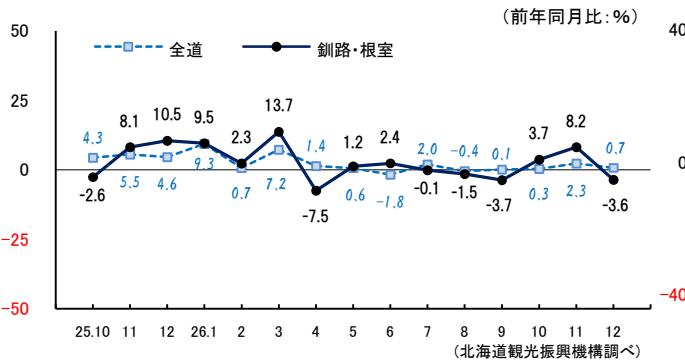
◆新設住宅着工戸数 (12月)◆ 2か月連続で前年を下回った



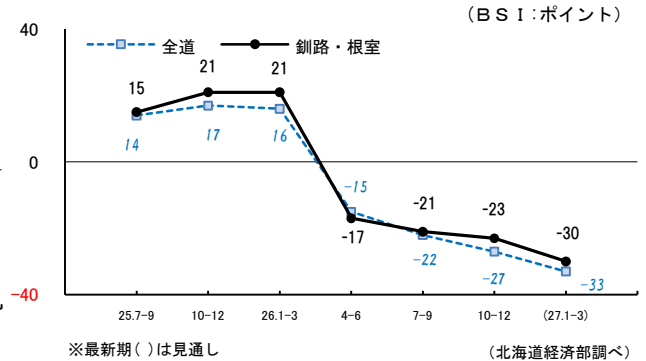
◆公共工事請負金額 (12月)◆ 2か月ぶりに前年を下回った



◆航空機利用による来道者数(着地別) (12月)◆ 3か月ぶりに前年を下回った

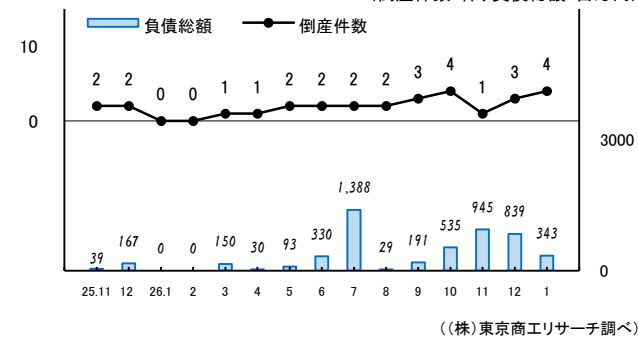


◆企業の業況感 (10-12月期)◆ 前期からマイナス幅が拡大した



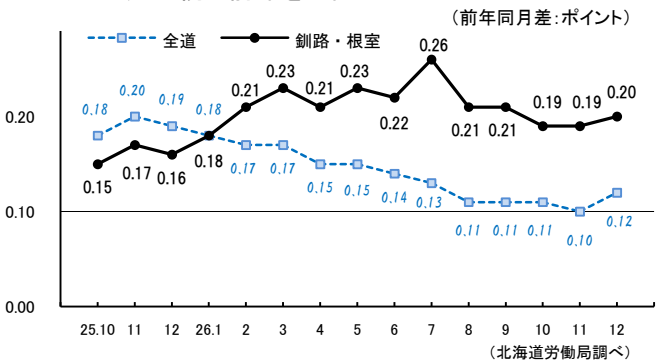
◆企業倒産 (1月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



◆有効求人倍率 (12月)◆

61か月連続で前年を上回った



■全国の景気

～景気は、個人消費などに弱さがみられるが、緩やかな回復基調が続いている。～

＜内閣府月例経済報告(平成27.2.19)から＞

我が国経済の基調判断

- ・個人消費は、消費者マインドに弱さがみられるなかで、底堅い動きとなっている。
- ・設備投資は、おおむね横ばいとなっている。
- ・輸出は、このところ持ち直しの動きがみられる。
- ・生産は、持ち直しの動きがみられる。
- ・企業収益は、全体としてはおおむね横ばいとなっているが、大企業製造業では改善の動きもみられる。企業の業況判断は、おおむね横ばいとなっている。
- ・雇用情勢は、改善傾向にある。
- ・消費者物価は、横ばいとなっている。

先行きについては、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、原油価格下落の影響や各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、消費者マインドの弱さや海外景気の下振れなど、我が国の景気を下押しするリスクに留意する必要がある。

政策の基本的態度

政府は、大震災からの復興を加速させるとともに、デフレからの脱却を確実なものとし、経済再生と財政再建の双方を同時に実現していく。このため、「経済財政運営と改革の基本方針2014」及び「『日本再興戦略』改訂2014」を着実に実行するとともに、政労使の取組を通じて、好調な企業収益を、設備投資の増加や賃上げ・雇用環境の更なる改善等につなげ、地域経済も含めた経済の好循環の更なる拡大を実現する。さらに、経済の脆弱な部分に的を絞り、かつスピード感を持って、「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」及びそれを具体化する平成26年度補正予算を迅速かつ着実に実行するとともに、平成27年度予算及び関連法案の早期成立に努める。

また、政府は、2月10日に「産業競争力の強化に関する実行計画」(2015年版)、2月12日に「平成27年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」を閣議決定した。

日本銀行には、経済・物価情勢を踏まえつつ、2%の物価安定目標を実現することを期待する。

各 論

- ・個人消費は、消費者マインドに弱さがみられるなかで、底堅い動きとなっている。
- ・設備投資は、おおむね横ばいとなっている。
- ・住宅建設は、底堅い動きとなっている。
- ・公共投資は、このところ弱めの動きとなっている。
- ・輸出は、このところ持ち直しの動きがみられる。輸入は、おおむね横ばいとなっている。貿易・サービス収支の赤字は、減少傾向にある。
- ・生産は、持ち直しの動きがみられる。
- ・企業収益は、全体としてはおおむね横ばいとなっているが、大企業製造業では改善の動きもみられる。企業の業況判断は、おおむね横ばいとなっている。倒産件数は、緩やかに減少している。
- ・雇用情勢は、改善傾向にある。
- ・国内企業物価は、緩やかに下落している。消費者物価は、横ばいとなっている。
- ・株価(日経平均株価)は、17,300円台から17,900円台まで上昇した。対米ドル円レートは、117円台から118円台で推移した。

最近の経済動向
平成27年2月号

編集・発行 北海道経済部経済企画室

TEL 011-204-5139

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/saikin-doukou.htm>